
議員活動の軌跡2

はじめに

山口県議会議員

小泉利治

今年も桜が満開となり、人々の心を和ませている今日この頃です。

昨日のように思える県議会初当選から20年経過しました。

光陰矢のごとしと申しますが、まさにあっという間の議員生活でありました。

さて、この度、私の議員生活の軌跡として、これまでの、様々な議員活動や地域活動等を振り返るに当たり、これまで各新聞に掲載されました記事を冊子にまとめてみました。

公明新聞を中心に、地元紙である、山口新聞や宇部日報（当時はウベニチと宇部時報に分かれていました）に掲載された、私の記事です。

参考までに、私は県議選に出馬する以前に、宇部市議を2期8年間務めさせていただいております。

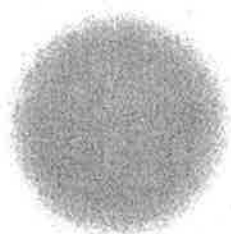
この8年間、「小泉通信」として、毎月発行して参りました。又、県議として県政報告を随時発行して参りました。今読み返せば恥ずかしい限りですが、添付しました。

市議を含めての政治生活28年間を節目に、一人の地方政治家小泉利治の一端を知っていただければとの思いから、刊行しました。

今日まで温かいご指導、ご鞭撻とご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げますとともに、どうかこれからも宜しくお願い申し上げます。



新聞のきりぬき



2014年1月25日(土) 公明新聞

雇用、災害対策で県に要望

党山口県議団



公明党山口県議団(小泉利治団長)は、このほど、県庁内で県知事職務代理者の藤部秀則副知事と会い、2014年度予算編成に関する要望書を手渡した【写真】。

席上、小泉団

長らは「県民の安全・安心の確保と生活向上に

向けた予算編成を」と強調し、

計130項目を

要請。重点要望

として、①緊急

雇用対策補助事

業の創設②成長

分野である医療関連産

業や環境エネルギー産

業の育成、集積の強化

③昨年7月に山口市や

萩市などで発生した豪

雨被害における農地、

農業用施設の早期復旧

などを求めた。

り坂急カーブ約100

府。茂原街道から坂を

下ってくる車がスピード

を出して、見通しの

悪い丁字路を、一気に

通り抜ける危険な場所

だった。

こうした実情を知っ

た本吉敏子町議はかね

てから、町当局に改善

を要望していた。

拡幅は、既存のカー

ブを緩やかに延伸する

形で整備され、併せて

2014年1月29日(水) 宇部日報

国民目線の政治を

公明宇部支部が新春懇談会



新春懇談会であいさつする斉藤幹事長代行(国際ホテル宇部で)

公明党宇部支部の新春懇談会はこのほど、国際ホテル宇部で約200人が参加して行われた。今年結党50周年を迎え祝賀

ムードの中で、安倍政権を支える同党の活動に期待が寄せられた。

主催者を代表し小泉利治・県副代表が「新春懇談会も14回目を迎えた。

昨年末、県内5総支部を3総支部に改編し、宇部

山陽小野田、下関で西山口総支部を構成した。知

事選では自公で元気な若い候補を支えることにな

った。50周年を契機に、

国民目線を忘れず、さら

にしっかりと政治に取り組

んでいきたい」とあいさ

つ。

斉藤哲夫・党幹事長代

行も「50年間名前が変わらない政党は三つだけ。

立党の原点を忘れず、地域に根差した活動をして

いるからだ。今、アベノミクスの腰折れをさせて

はならない。補正予算を早期に成立させ、来年度

予算も3月末までに終わ

らせたい」と述べ、県知

事選に立候補を表明して

いる村岡嗣政さんの妻・

雅美さんを紹介した。

来賓を代表し河村建夫

・自民党選挙対策委員長が「自公の連携も15年の節目を迎え、安定政権を築けた。最近特定秘密保護法など、安倍晋三首相への風当たりが強くなっているが、安倍政権の保証人は公明党。盤石な自公政権にしよう」と話した。(坂本)

河川しゅんせ ついで浸水防ぐ

山口・長門市

今年1月、長門市内を流れる木津川で川底の土砂を取り除くしゅんせつ工事が完了した【写真】。

同河川は堆積した土砂などが水の流れを遮り、住宅への浸水被害が出ている。「大雨が降ると心配で夜も眠りませんでした」。河川沿いに自宅がある原田千津子さんは工事前の様子をこう語っていた。



そうした表情を知った公明党の先野正宏市議は3年前、小泉利治県議と連携し、河川を管理する県長門土木建築事務所事情を説明。対策を講じるよう訴えたところ、約500坪の区間でしゅんせつ工事が行われた。原田さんは「不安が解消された」と喜んでいる。

「健康寿命」延ばそう

公明が自治会が連携し会設立

山口・宇部市

地域を挙げて健康寿命を延ばそうと、山口(村田行生会長)を委員長とする久保田后子市長は2月27日、健康増進

組織「健康かみうべ21」(村田行生会長)を委員長とする久保田后子市長は2月27日、健康増進

上で校区内に在住、在勤、在学している人。参加者は同組織が作成した45項目の「健康づくりメニュー表」から水泳や卓球、ダンスといったスポーツのほか「間食を減らす」「1日(一)歩歩く」など好みの項目を選び実践していく。

同組織は、校区内の自治会や各種団体、企業が一丸となり、健康で元気な地域づくりをめざす。

同組織の立ち上げには、同校区内で自治会長を務める公明党の小泉利治県議が尽力。実行委員長として組織基盤の構築に取り組んできた。



「平均寿命と健康寿命の差を縮めることで、医療費の抑制などにつなげていきたい」と小泉県議は語っている。

河川をしゅんせ ついで水害防ぐ

山口・萩市

山口県萩市、田方を流れる市味川で先ごろ、川底にたまった土砂を取り除くしゅんせつ工事が行われた【写真】。



この川はこれまで、堆積した土砂が水の流れを妨げ、大雨が降るたびに氾濫。周辺の田畑では冠水被害が発生していた。川沿いに田んぼを所有する土井幹雄さんから相談を受けた公明党の佐々木武夫市議は2011年5月、小泉利治県議と共に県土木建築事務所にしゅんせつ工事を求める要望書を提出していた。

しゅんせつされたことで土井さんは「水の流れが良くなり、冠水被害が少なくなる」と語っていた。

2014年3月30日(日) 公明新聞

◆山口・宇部市

横断歩道に押し ボタン式信号機

宇部市船木を通る国道2号の横断歩道にこのほど、押しボタン式の信号機が新設さ



れ、周辺住民から喜ばれている【写真】。

現場は交通量が多く、下り坂のため車のスピードが出やすい。歩行者から「怖くてなかなか渡れない」との声が上がっていた。

現場近くの障がい者就労支援施設に通う利用者から実情を聞いた公明党の吉永美子・山陽小野田市議は、安藤巧・宇部市議や小泉利治県議と連携。2012年6月、宇部警察署に信号機設置の要望書を提出していた。当時、地元自治会長だった和田道敏さんは「歩行者の安全が確保され、便利になった」と語っていた。



県議会一般質問

児童虐待防止へ

市町村ネットワーク整備



児童虐待防止に関する小泉議員の質問

山口二百定例県議会議員問 問 二百の六日は、西本輝男（下関市、自民）、藤谷光信（若狭市、民公連）、関連議員間で小泉利治（宇部市、美弥郡、民公連）、松原守（下関市、県政之）の四議員らが一般質問に立ち、男女共同参画社会、中小企業、教育などの諸問題について執行部の考えをたじた。

小泉議員は、児童虐待に重層待の問題を早急に対応して質問。県内、月のしなればならない課題で相談件数が百三件と昨年度ある。県は「やまぐち子どもさくらプラン」を新たに策定し、社会全体で子どもや家庭を支える環境づくりに取り組むとしているが、児童虐待の問題にきちんと対応しない限り、計画の実現は不可能と述べても過言ではない。今後ますます深刻化する児童虐待の問題にどのように対処するのかが、とたじた。

二井成知事は、「児童虐待の相談件数は急増している。県内でも児童虐待の痛ましい事件が発生、児童虐待の取り組みを強化する必要がある」と述べ、児童虐待防止の重要性を強調した。児童虐待防止の取り組みとして、児童虐待防止センターの充実、児童虐待防止の相談体制を拡充する。虐待を受けた児童の心のケアの充実を図るため、中央児童相談所の一次保護所へ心理担当職員、児童養護施設には専任職員を配置、虐待を受けた児童に個別に対応し、家庭復帰後も施設職員が訪問してホローアップする。さらに保護者への相談支援について、精神科医の助言指導を受け、カウンセリングをしながら関係機関団体との連携を密にしながら、児童虐待の未然防止と早期発見に努めたい」と答えた。

6万件以上の効果

市の申請書押印廃止

来月から 市民の余分な負担解消 など110種

宇部市は九月一日から公共施設使用許可申請書など一部申請書の押印を廃止する。住民票簿など法令や行政指導で押印が義務付けられているものは、現行通り必要なが、厳格に責任を確認する必要のない公共施設使用許可書類は不要となる。印鑑を忘れて再度足を運ばなければならないという不便が解消され、電話予約もできるよになり、市庶務課は「市民の余分な負担が解消され、市民サービスにつながる」と話している。

市への申請書類は現在五百二十六種類あり、このうちカード化された印鑑証明の登録交付書など十七種類（三・二〇）がすでに段階的に廃止されている。

今回の文書事務の見直しは、厳格な証明、責任が必須としないものを中心に実施しており五番目、市庶務課では「個別的な事務処理方法として社会的に定着していたものを含め、押印廃止可能なものはない」との見直しをした。また意見や要望があれば庶務課に「してほしい」と話している。

交通環境など41項目 総点検まとめ要望

公明党の県総支部連 宇部市と宇部県民局に 動推本部支部総支部 提出した。 昨年介護関連の総点検に続く活動で、二月六日から三月二十日の結果をまとめ、交通環境の整備を四十一項目にわたる要望書を

票に記入したものを集約した。具体的には歩道の凸凹の解消、カーブミラーや信号機の設置、低地帯での増水など危険区域の解消、交通環境の整備など。 県議の小泉委員長と同党宇部市議団の四人の計五人が市役所を訪れ「巨大な危険を感じたところある場所などを、地図、写真付きでまとめて。市民の声を聞いていただく取り組みを、ぜひお願いしたい」と説明。 要望書を受け取った久保田市長も「一行



久保田市長に要望書を提出する小泉委員長（右から3人目、市役所で）

県議会一般質問

県申請書の取得 インターネットでOK

県営住宅など まずは70種類



小泉 利治氏

谷津事務部はインターネットによる申請書の取得について、「許可などを発行の際に必要な申請書を掲載し、家庭のパソコンで自由に取得し、利用できるように準備している」と述べ、新年度からインターネットで、利用頻度の高い約七十種類の申請書を取得できる

一月県議会は七日、一般質問があり、藤山雄雄氏（自民党）、小泉利治氏（民主・公明・連合の会）、関通博、池田雅男氏（同）、久保田厚氏（県政）が、県政全般から質問した。県は、四月からインターネットで許可に必要な申請書を取得することが可能となり、学校教職員を導入するなどを明らかにした。

新年度を目前にして、各自治体では、さまざまな制度や施設が誕生しようとしている。そこで市議会公明が推進してきた実績の中から、今春オープンを目指して急ピッチで整備が進められている文化・教育施設を紹介する。

運動公園野球場

全国トップクラスの施設

プロ野球公式戦、高校野球県大会にも対応できる全国でもトップクラスの野球場がこの春、お目見えする。宇部市恩田運動公園野球場がそれ。

同野球場は、一九四一年に建設された旧球場を解体して、九五年十月から工事を進めてきた。両翼百メートル、サテライトスタンドは、本塁からセンターまでは、百メートル。スタンドは鉄筋コンクリート二階建て。一階にはタックアウト、ブルペンなどのほか、身障者も利用できるトレーニングルームを設ける。さらに身障者用観覧室に配慮した設計をしている。スコアボードは逆光反射式を採用。夜間照明は三十五ワットの鉄塔に六基設置する。同市は、この



全国トップクラスの市野球場を視察する宇部市議会公明

潤いあふれる 街づくりをめざして

県有施設

自販機業者公募制に

県が方針 54施設150台10月から

県は2日、財源確保対策の一環で10月から導入する方針を示していた県有施設への飲料用自販機設置業者の公募制について概要を発表した。県へ支払う売上手数料の率が最も高い業者を最優事業者とする仕組みで、本庁や県立学校、警察署など54施設の約100台を対象に10月1日から実施する。

業者を設備事業者とする。同率の場合は引きで決める。設備事業者は9月に公募制による自販機の設置期間は10月から来年3月未まで、対象の自販機すべてが手数料率20%で設置

された場合、本年度は1000万円の収入を見込む。県が認めた場合、設置期間はさらに2年を限度に更新できる。県は財源確保対策で試験的に4月から本庁の自販機3台に公募制を導入。6月までの3カ月間に計40万円の収入があったという。

全庁するとパタリー間は、七〇〇発の明をこら五月二十六日にプロ野球公式戦を企画している。

遊休地が市営住宅の駐車場に山口県宇部市宇部市の風呂ヶ泊市営住宅にこのほど、遊休市有地を活用した新たな駐車場が設置され、住民から大変に喜ばれている。【写真】

同市営住宅は近年、慢性的な駐車場不足に悩んでおり、同住宅の神代義明・上宇部3の1自治会長らを中心に駐車場確保対策に取り組んできた。今年春には市議会公明党の村上厚子議員を仲介し、市営住宅側の遊休市有地を駐車場に活用できるように、同市官財課に数回にわたって交渉。その結果、有料駐車場として、



同表示板は今年3月市議会で承認議員が、県が昨年11月、県の公共施設の公認マーク表示板を配備したのを機に、同市でも表示板を設置するよう提案したことがきっかけ。5月、市役所本庁は、出仕機関など14施設に41個設置された。



鹿島市は、中途失聴や難聴、耳の聞こえが良くない人が市役所などを利用しやすいように、窓口で「筆談をします」と

地域浮揚の効果に期待

県議、知的クラスター学ぶ



山口県知事(中央)と県議らによる「知的クラスター」の説明会(山口県庁)

「やまぐち・うへ・メテ」(これからの学は地元イカル・インベージョン)が、知的クラスター構想について勉強した。委員からは「知的クラスター事業は、地元産業の活性化に必要」との意見が聞かれた。四、五日の日程で行った県内視察の一環で、四日には小野田市の共創塾を訪問し、自動車のサイクル・リサイクルシステムを視察した。知的クラスター創成事業は、地方自治体の主体性を重視し、大学や研究機関を核とした国際競争力の高い技術革新のための事業を指すもの。宇部地域は、今年度から五年程度にわたり、文部科学省から事業認定を受けている。委員からの「雇用など、三木俊亮工学部長が地元への経済効果」と

の質問には「二〇一〇年には、千八百億円の新規事業創出、二千人の雇用創出を目標とする」と回答。田口教授は「成功の鍵の一つとなるが、人材の育成。優秀な学生の県外流出に歯止めを掛け、企業からの研究者を積極的に受け入れ、育てることが求められる」と指摘した。田中委員長は「地域浮揚のための大きな事業になると感じた。実現に向けて、県議会としてもバックアップしていきたい」と話した。



公明党山口県本部山陽支部(山陽支部)は、今年7月度の公明新聞購読推進の結果、見事に有権者比1%達成した。支部として実現したのは中图分类号では初の快挙。8月9日(衆院議員)が出席し支部会を盛大に開催し、健闘をたたえ合った。同支部が、有権者比1%達成を法議した。これは今年4月、以来、支部機関紙推進委員会地域有権者数に合わせた8地区、25分会で、紙推委員は「目標を明確にして職員、役員が胸をなやませる。21日までの1か月間、支部交流をあらゆる手を打ちました。1%は、ありませぬ」と感動して語った。山陽小野田支部

公明 各地で 新春街頭演説会



政治決戦への決意を語る島根県松江総支部のメンバー＝5日 松江市

鳥取県米子総支部の議員は絶大な支援を訴えた＝3日 米子市

政治決戦の2009年を迎え、中国地方の公明党議員は、各地で新春街頭演説会を発売に開催し、衆院選などの完勝へ勇躍スタートした。寒風の中、「次の戦いに断じて勝つ」との決意を訴えるなど、年頭の決意を放語した。



新年の決意を述べる岡山県東備総支部のメンバー＝3日 赤磐市



絶大な支援を呼び掛ける山口県宇部総支部の議員＝2日 宇部市

坂口厚労相招き懇談会

公明党県本部、時局講演も



公明党山口県本部(三木康博代表)は8日、坂口厚労大臣を招き、坂口厚労大臣と懇談会を開催し、時局講演も行った。懇談会には、公明党山口県本部の幹部ら約30人が参加した。坂口大臣は、少子化対策として、政府の方針を説明した。

坂口大臣は、少子化対策として、政府の方針を説明した。また、子育て支援策についても説明した。坂口大臣は、少子化対策として、政府の方針を説明した。また、子育て支援策についても説明した。

坂口厚労大臣と懇談会
労働問題 少子化問題を語る坂口厚労大臣

坂口厚労大臣は、少子化対策として、政府の方針を説明した。また、子育て支援策についても説明した。



坂口厚労大臣は、少子化対策として、政府の方針を説明した。また、子育て支援策についても説明した。

深刻な人口問題

企業は技術出し合い開発を

人口問題の深刻化は、企業に大きな課題を突きつけている。企業は技術出し合いによる開発を進め、人口減少への対応策を模索する必要がある。

人口問題の深刻化は、企業に大きな課題を突きつけている。企業は技術出し合いによる開発を進め、人口減少への対応策を模索する必要がある。

地方選前半戦

6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール



宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

宇部市美林郡区 6議席に7人名乗り 「元氣な古里」アピール

期待に込める党に

公明党本部総支部が新春懇談会

公明党本部総支部(小の辨屋敬悟衆院議員も)は二十一日「自民党との連立政権は七日、国連ホテル宇部で七年目を迎え、大任を担った。公明党は合併を強力に推し進めてきた。地方の議員が連携し、皆さんの要望を施すために、恒例の新春懇談会を開いた。皆さんの期待に込められるよう頑張りたい」と抱負を述べた。



抱負を述べらる辨屋衆院議員(国際ホテル宇部)

「春呼び起こす戦いを」

公明党新春懇談会

公明党本部総支部(小泉利治総支部長)は二十一日「自民党との連立政権は七日、国連ホテル宇部で七年目を迎え、大任を担った。公明党は合併を強力に推し進めてきた。地方の議員が連携し、皆さんの要望を施すために、恒例の新春懇談会を開いた。皆さんの期待に込められるよう頑張りたい」と抱負を述べた。

小泉総支部長が「新春言力は増し、自民党の勢いながら、一体となつて懇談会は六回目となつて走を防いでいる。自民党改革を進めたい」と祝した。地方分権の流れの中で、公明党がハラスを取締り定めた。公明党は合併を強力に推し進めてきた。地方の議員が連携し、皆さんの要望を施すために、恒例の新春懇談会を開いた。皆さんの期待に込められるよう頑張りたい」と抱負を述べた。



国政報告会(比例区)も「補正予算を早く成立させる」とのことが今年の課題とが景気政策と訴え、そのためにも、まず「新市場の開拓や内閣大なければ」と支持の拡大で用を創出す「呼び掛けた。(岩村)

効なコンメンツであり、県民が様々な分野で多面的に利用できるようにデジタルアーカイブの構築に取組む必要がある。しかし構築には著作権などの権利関係やアーカイブの管理、デジタル化のための機器整備、費用負担を解決すべき課題もある。先般設置したデジタルアーカイブ研究会で諸課題を検討し、関係者の意見も聞きながら実現に取り組んでいきたい」と答えた。

小泉利治氏 小泉氏は、新宿の雑居ビル火災を受け、県内の雑居ビルをめぐり、県内の雑居ビル火災対策について聞いた。藤井俊彦総支部長が、新宿のビル火災後、緊急の立入調査と防災査察を実施した点を報告。査察の結果、不適合な箇所があった場合は、「具体的に文書で是正を指導し、指摘事項について期限を定めて改善状況の報告を



をを受け、県内の雑居ビルをめぐり、県内の雑居ビル火災対策について聞いた。藤井俊彦総支部長が、新宿のビル火災後、緊急の立入調査と防災査察を実施した点を報告。査察の結果、不適合な箇所があった場合は、「具体的に文書で是正を指導し、指摘事項について期限を定めて改善状況の報告を

「合併は2市2町で」

小泉県議が県政報告

小泉利治県議(公明、宇部市・美祿郡区)の県政報告会が九日、中央町のホテル河長であり、約百人が参加した。同県議を励ます会徳丸修代表は、四月の県議選で、公明党は三議席から四議席へと議席を増やし、小泉県議も上位当選を果たすなど大躍進。「重責に気持ちを引き締め、初心に戻って、元気な県政発展のために取り組むたい」と最初に謝辞を述べた。現在は商工労働委員会

小泉利治県議(公明、宇部市・美祿郡区)の県政報告会が九日、中央町のホテル河長であり、約百人が参加した。同県議を励ます会徳丸修代表は、四月の県議選で、公明党は三議席から四議席へと議席を増やし、小泉県議も上位当選を果たすなど大躍進。「重責に気持ちを引き締め、初心に戻って、元気な県政発展のために取り組むたい」と最初に謝辞を述べた。現在は商工労働委員会



支援者を前に2期目の政治活動を語る小泉県議(ホテル河長で)

応援弁士として来場し十年間に国家公務員の数は八十八万人から五十七万人厚生労働大臣は、九になった。改革が一つずつ進んでいることは確か。内閣改造で金融担当大臣には責任ある政治家を据えていたが、相まことに心配な総理など、苦しい胸の内を省庁の再編などで、過去語った。

狂牛病で制度融資率1.9%、保証料率0.65%で融資期間は七年(据え置き二年)。県は十二日から、狂牛病やその風評被害の影響を受ける食肉販売店や焼き肉店などの中小企業対策のため、制度融資を始めた。経営支援特別資金は、最近三月月の売上高が前年同期比20%以上減少する見込みの中小企業が対象。市町村長の認定が必要。

公明党の国政報告会

樹屋衆院議員が
新春の決意表明

公明党新春国政報告会が十一日、長門市湯本温泉の白木屋ラウンジホテルであり、同党山口県本部代表の樹屋敬悟衆院議員らが新春の決意を語った。

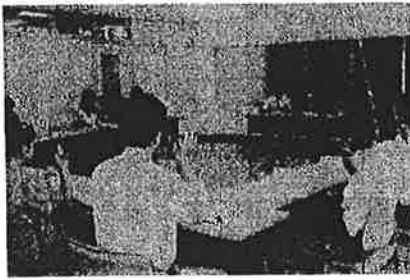
同党長門支部と美祿支部が合同で開催。関係者約七十名が出席した。樹屋衆院議員は、厳しい経済情勢の中、国においても持てる力を総動員して一刻も早くこの景気局面を打開しなければならぬ」とし、現在、国会で審議が進んでいる第二次補

正予算については「景気対策として、定額給付金一兆円を盛り込んだ。野党から厳しい批判もあるが、みなさんにはぜひこれを活用していただきたい」と話した。また、今年実施予定の衆院選については「与党には厳しい逆風が吹いているが、自



窓口サービス向上へ

山口県市職員の手話講座開催



「窓口サービスを向上させ、行政のノーマライゼーションを図ろう」と山口県本部はこのほど、市職員を対象とした手話講座を

開催した【写真】。

受講者は、市民センター、福祉課、高齢福祉課など窓口業務担当する各課の職員十八人。講座内容は、

手話による簡単な会話、記入・転出・戸籍・印鑑証明などの手続きへの対応、保育園や市営住宅の申し込み方法などで、九回に分けて行われた。

同市は一九八三年以降、県身体障害者福祉センター主催の手話研修に職員を派遣する一方、職員の自主研究グループ「手話会」への助成を行ってきた。

市内には約五百六十人の聴覚障害者が在住。意思疎通の不安から、多くの障害者が専任通訳者を同伴して市役所窓口に来庁していた。市議会の小泉利治議員は昨年十二月定例会で、職員手話講習会の実施を訴えていた。

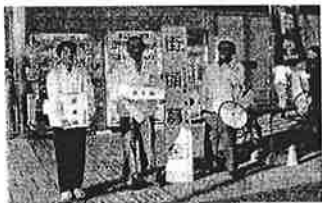
被災者に真心を

公明議員ら募金活動を心援

先月8日にパキスタン北部を襲った大地震の被災者に真心の支援を送ろうと、中国地方の公明党各県本部はこのほど、市民団体の街頭募金活動に参加し、道行く人々に真心の支援をと呼び掛けた。

山口県本部市内のショッピングセンター前で行われた街頭募金活動には、小泉利治県議をはじめ

山口県本部市内のショッピングセンター前で行われた街頭募金活動には、小泉利治県議をはじめ



め、市議八人が駆け付け、「皆さまの善意をお寄せください」と懸命の訴え

を行った【写真】。また、岡山県では、JR岡山駅と倉敷駅前の2カ所で実施。谷合正明参院議員のほか、党岡山県本部の県議、市議20人が参加した【写真】。

4月からCD貸し出し

市立図書館 2700枚の入力作業急ピッチ

中国書局の利用者を一館長が、来春四月から、貸出を開始する。貸出期間や本数は、

県内各所で、職員らは「一本にするか、多くの利用にこなすために二週間に一本程度にするかなど、検討中。大森館長は「来年四月から貸し出しを始めよう。利用者との立場に合わせ、書籍と同じサイクルで貸し出しするのがベストだろうが、それでは本数が不足。回転を早くし、多くの人へのニーズに答えたい」と考えている。CDは約四千件。うちCDは一日平均五枚程度とされており、貸出期間と枚数については、書籍・雑誌と同様に二週間とし、



来春からの貸し出しに向け作業を進める職員

「公明」結成大会に集った全国の代表の声

わが国の政治に輝かしき開拓の足跡を刻んできた公明党は五日、「公明」と公明新党とに分党、それぞれ結成大会、設立大会を開催し新出発した。「公明」の結成大会は東京・新宿区の日本青年館で開かれ、庶民と共に生き抜く「草の根の党」として、勇躍の前進を開始した。「地域の中へ」「庶民の中へ」……。熱気みなぎる大会に全国から集い、新時代への飛躍を暗れやかに誓い合った出席者の決意と抱負を紹介する。

市民相談をエネルギー源に

山口県宇部市議 小泉 利治氏

二十世紀を目前にし、くまらずに、立て、新党「公明」が結成されました。期待と信頼の軌を上げ、希望あふれる第二



幕のスタートです。「日本の柱」公明党から、世界に通用する責任ある政治へ、その義務も一層大き



「改革は地域から」

結成大会に参加した代表者は「公明」が掲げたスロ



若の里閣ら力士を囲み乾杯する出席者（宇部全日空ホテルで）

力士を囲み 和やか交歓

鳴戸部屋後援会

鳴戸部屋後援会（岩村美也子）主催の「天相撲鳴戸部屋後援会」が二十八日、宇部全日空ホテルで開かれた。市選に約三百五十人は、若の里閣や稀勢の里閣の一門の力士二十五人と触れ合い、終わつたばかりの九州場所の劣をねぎらったり、来年に向けてエールを送つたりした。岩村会長は「激励会は今年で十一回目。九州場所は鳴戸部屋にとって、若の里閣の休場をはじめ、あまり良い成績とはいかなかった。ニューカッセルから帰ってきたばかりだが、海外での相撲への関心の高さ（驚い、来場所は素晴らしい相撲を取り、場所を盛り

上げてくれるはず」と期待を寄せた。

鳴戸親方（第五十九代横綱隆の里）は「異出身の力士がいなくてもかわらぬ。毎回（ついでに）かく迎えてくれることをうれしく思い、心の広さを感じる。今場所は期青龍の独壇場となり、休場した若の里、勝ち越すことのできなかつた稀勢の里にも悔しい思いをしたと思つた。この悔しさをばねに来場所は奮起してくれるはず。今後も応援をお願いします」とあいさつした。

乾杯の音頭を会頭に始まった懇親会には、出席者が力士と歓談。相撲談議に花を咲かせ、記念撮影や握手をしてもう姿があちこちで見られた。鳴戸親方によれば、解説や角界の裏話もあり出席者を楽しませた。（浜村）

県議会の反対意見書尊重

米軍再編対応で知事

県議会代表質問

県議会は五日、代表質問があり、柳居俊学(自民)・小泉利治(公明)・加藤寿彦(民主)の三氏が、在日米軍再編問題や岩国基地民間空港再開、来年度予算などを取り上げた。二井関知事は米軍再編問題で、厚木基地(神奈川県)空母艦載機部隊の岩国移転による騒音の影響などを全面的に照会したことを報告。今後県の基本姿勢を堅持して地元を尊重しながら対応する考えを示した上で、「県議会が可決した意見を尊重して検討・協議を進めたい。困った回答に不明点があればさらに照会して説明を求めたい」と述べた。

民空「1日4往復」で計画策定

柳居氏は、米軍再編や民間空港再開、教育問題などについて県の見解を聞いた。

一井知事は、厚木基地空母艦載機部隊の岩国移転が日米両政府の中間報告



柳居 俊学氏

の意向を尊重しながら検討・協議を進めたい」と述べた。

日米で民間航空機の一四日往復の運航が確認された岩国基地の民間空港再開については「大きな前進。民間機運航のための施設整備など、これまでも踏まえて対応する考えを示し、今以上の基地機能強化や夜間離着陸訓練(NLTL)実施に反対する県の基本姿勢を堅持するとして、一地元

の意向を尊重しながら検討・協議を進めたい」と述べた。

日米で民間航空機の一四日往復の運航が確認された岩国基地の民間空港再開については「大きな前進。民間機運航のための施設整備など、これまでも踏まえて対応する考えを示し、今以上の基地機能強化や夜間離着陸訓練(NLTL)実施に反対する県の基本姿勢を堅持するとして、一地元



小泉 利治氏

小泉氏は、学校の安全対策や来年度の予算編成をテーマに質問した。

広島県と浜木県で相次いで小学一年生の女児が殺害される事件が発生したを受け、藤井教育長は、県内すべての学校に集団登下校や指導の徹底、通学路の緊急点検などを通知したことを報告。今年度から全小中学校に耐震性を向上させることを進めている。



加藤 寿彦氏

県がこれまで県内の特定行政庁や指定確認検査機関が保存する構造計画

航空機に向けた活動を本格化させたとして述べた。藤井俊彦教育長は、教育事務所の廃止を盛り込まず、

スクールガードの設置を促進

小泉氏は、学校の安全対策や来年度の予算編成をテーマに質問した。広島県と浜木県で相次いで小学一年生の女児が殺害される事件が発生したを受け、藤井教育長は、県内すべての学校に集団登下校や指導の徹底、通学路の緊急点検などを通知したことを報告。今年度から全小中学校に耐震性を向上させることを進めている。

耐震偽造問題で

加藤氏は、耐震強度偽造問題や米軍再編問題などについて質問した。藤井俊彦教育長は、教育事務所の廃止を盛り込まず、

小泉利治議員(公明)市障者福祉計画に、市民の意見を十分に反映させる必要がある」と述べた。

藤田忠夫市長 計画は今年度中に策定する。障者はもちろん、医療、教育、福祉に従事する専門家や学識経験者など、各方面の意見を反映させるため、策定懇話会を設置する。

小泉議員、在宅身障者に対するサービス事業の充実を。近年、利用者の障害の重篤化が進み、現在の作業中心型が困難な状況。今後の在り方についてサービスが充実する。

デイサービス協議 在宅身障者市諸届けマニュアル作成へ

藤田市長 点検を行った。ブル並別駐車方式としては、型が困難な状況。今後の在り方についてサービスが充実する。

小泉議員、中社会的な進展で二世帯二台の家庭が多い。市営住宅の駐車場を多めふたに直している。

小泉議員、地下道の安全防犯対策の充実を。藤田市長 今後、検討していきたい。壁面の有効利用は、美観を考慮しながら、観光、地場産のPRを含め、研究したい。

生徒が先生の前で喫煙 現場の適切対応求める

小泉議員

「宇部市内の中学校では、生徒が先生の前でたばらを吸ったり、教室の床にたばらを吐いたりしている」とし、荒廃した教育現場に対する「適切な対応」を生見正彦教育長に強く要請した。

県議会 一般質問

十月定期県議会的一般質問は十二日、最終日を迎え、三人が登壇した。宇部市・美祿郡の利治議員(民主)・公明・利治議員(民主)・山口宇部連合の会(同一路線の二社連航)で、日本航空も前向きに検討していることを受け止め

- 来社
- ▽小泉利治(公明)
 - ▽市議会議員
 - ▽新築寛徳(民主)
 - ▽藤井正
 - ▽長谷川耕三
 - ▽村上憲三
 - ▽同
 - ▽同
 - ▽田中敏弘(市議)
 - ▽市議
 - ▽網文通(網事務)
 - ▽佐伯代(歌会)
 - ▽花わらび代表
 - ▽日向澄枝(同会)
 - ▽山本國博(全部)
 - ▽市民生児協賛会
 - ▽長
 - ▽専美園(同副会長)
 - ▽岡村三(同副会長)
 - ▽岡村三(同副会長)
 - ▽平尾俊彦(協和)
 - ▽発酵工業部工場長
 - ▽長
 - ▽木下格(同製)
 - ▽海産物部長(民生)
 - ▽入(同製)
 - ▽栗田和起(西部)

- 来社
- ▽久保田后子(市議)
 - ▽若杉清美(宇部市選挙管理委員会)
 - ▽川田亮治(同)
 - ▽同
 - ▽前田隆康(山)
 - ▽宇部空港ビル社長
 - ▽奇川研二(同常務)
 - ▽武安助(同常務)
 - ▽勝部佳弘(同課長)
 - ▽小泉利治(自民)
 - ▽新築寛徳(民主)
 - ▽宇部市議
 - ▽村上憲三
 - ▽同
 - ▽長谷川耕三
 - ▽同
 - ▽安藤巧(同)
 - ▽藤本規(自民)
 - ▽荒川憲三(宇部市議)
 - ▽岡本公一
 - ▽同
 - ▽真鍋恭三(同)
 - ▽佐々木明美(自民)
 - ▽山本博(宇部市議)
 - ▽新井あゆみ(宇部市議)

来社

▽小泉利治(公明) 宇部支部総支部長 宇部支部新年賀詞交換会終了あけさ。

小泉県議が報告会

樹屋代議士は11月9日総選挙予想

小泉利治県議の県政報告会は9日、ホテル河長に支援者ら100人を集めて行われた。小泉県議は「足腰の強い行政を目指した。とくに市町村合併と安全な食の確立に尽力したい」と、2期目の抱負を述べた。

報告会には支援者のほか、元厚生労働副大臣の樹屋敬悟・衆議院議員・公明党市議団メンバーが出席。小泉県議は「春の統一地方選挙で2期目の当選を果たした。県議会の公明党会派は1人増え4人となり、第3会派となった。常に初心に立ち、県政発展のためがんばりたい」と、2期目にかける意気込みを表した。



小泉利治県議の県政報告会

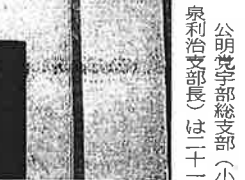
足腰状態が先行きも不透明感が漂っている。若者の雇用、中小企業対策のほか、公共事業の早期発注など、商工労働委員会でも数多く提言するなど、積極的に取り組んでいる。とくに中小企業に対する融資制度の充実

に重点を置いている。足腰の強い行政にするため、市町村合併を進め、スケールメリットを生かした自治体を目指さなければならぬ。また食の安全の確立も必要。今後とも市議会、県議会、国会とつながる公明党のネットワークを活用し、諸課題に取り組みで生きたい」と話した。

このあと樹屋衆議院議員が「100日間の国会が終り、自民党は総選挙を控え、民主党政権の急激な小沢さんが手を合せて。9月20日の自民党総裁選挙のあと、臨時国会を経て、10月13日までに解散、11月9日の総選挙となりそうなる見込みだ。小泉首相は、何も新しいことは行っていない。歴代の首相が行ってきたものをあわせて述べているだけ。運々として進まない改革のなかでも、国家公務員は以前の80万人が、いま50万人に削減され、近い将来37万人規模に縮小するはずだ。ムダを省くことが重要。時代は厳しいがやらなくてはならない改革はある」と、小泉首相を批判しつつ、改革の必要性を訴えた。

人間主義の国づくり

公明党支部総支部が懇談会



公明党支部総支部(小泉利治支部長)は、21日、国際ホテル宇部で、

党員や支持者約400人を集め、恒例の新春懇談会を開いた。席上、浜四津敏子党代表代行は「新しい日本の国づくりに積極的に取り組むたい」と抱負を語った。

小泉支部長が「新春懇談会は6回目となった。地方分権の流れの中で、地方議員の役割が大きくなった。ネットワーク型の公明党としては、地方議員は、市民が何を望んでいるかに耳を傾け、国会議員へと伝え、国と地方が手を取り合っていきたい」とあいさつ。

次いで県本部代表の樹屋敬悟衆議院議員が「きょうから国会がスタートした。今国会は小泉改革の集大成として大きな課題がある。庶民の目線で頑張っていきたい」と述べた。

浜四津代表代行は「生活者のための生活実現政党として結党し40年。与党になり五年を経過した。権力は使い方により大悪となり、大善となる。平和な社会づくりのため、大善を目指したい。今年は日本が敗戦の焦土の中から立ち上がり60年。憲法改正など新たな国づくりが控えている。人間主義の立場から新しい国づくりに取り組み、世界でも最も質の高い国をつくり上げたい」と話した。

この後、藤田忠夫市長の首頭で乾杯。河村建夫衆議院議員や綿屋滋二副知事、谷合正明参院議員らが祝辞を送った。

新しい国づくりの抱負を語る浜四津党代表代行(国際ホテル宇部)

新規高卒の就職支援 県内2300社に求人を要請

【山口】10月定例県議会について基本的な取り組の一般質問は12日あり、小泉利治（公明党、宇部市美祿町、山口県選）が、防府市佐波郡（三浦康博氏、公明党、下関市）の3議員が市町村合併教政問題について、4日間たった質問を終えた。16日から委員会審議に入り、最終日の19日、本会議を再開し、審議を再開する。小泉議員の主な質疑の要旨は次のとおり。

「山口」10月定例県議会について基本的な取り組の一般質問は12日あり、小泉利治（公明党、宇部市美祿町、山口県選）が、防府市佐波郡（三浦康博氏、公明党、下関市）の3議員が市町村合併教政問題について、4日間たった質問を終えた。16日から委員会審議に入り、最終日の19日、本会議を再開し、審議を再開する。小泉議員の主な質疑の要旨は次のとおり。



山口県は、生徒の不安や悩みを受け止める、積極的な対応とする教育相談専門教員を配置し、さらに指導が困難な中学校には新たに教員を配置するなど状況に応じた適切な対応をしていく。暴力行為の増加の問題、家庭や学校のあり方に関するシミュレーション調査の支援など、合併の議論が深まるもの」と期待している。

牛見正彦教育長 暴力行為は過去2年連続して減少したが、昨年度（00年度）は増加に転じ深刻な状況に陥っている。対応は学校に対して児童生徒と教師、保護者と教師の信頼関係に基づく生徒指導の推進を図り、必要に応じて関係機関の協力を得るよう指導した。生徒指導の課題がある学校には、企業訪問の回数を増やすなど今後の具体的な就職支援対策について各学校の積極的な対応を指導した。9月、商工労働部と各小学校の校長が企業訪問を行い、県内企業約2300社に求人依頼書を送付し、求人要請文を送付し求人枠の拡大に努めている。

予算市議会代表質問の質疑応答

小野治議員（公明党） 街頭交番は、交付金の六千八百四十四万、県内他都市に先駆け試行的に一般廃棄物の埋め立てに借り置きしているが、九を成振興取敢事業者登録させて売り上げアップになる。会場も百四十八人増える。小泉議員、火葬場の身障者利用の整備、中々立形で、埋め立ての現存の残量は五千九百に減り、九九年度は試験などを支援している。クルマエ、カザミは放流開始後の漁獲量が順調に推移している。

県内に先駆け試行 ヘルプサービス 東見初沖処分場4月から搬入

東見初沖処分場4月から搬入 ヘルプサービス。対策の充実を。ていまい。



小泉議員、ゆとりある学級を実現するため、少人数学級の実現を。藤田市長、これまで通っていた。昨年12月、地元の大田コユウさん、小泉議員と協議して、県警などに早

漁協と系統団体が合併努力を

小泉氏は、県漁協の合併の経緯の必要性について関連質問した。



小泉 利治氏

潮田三水産部長は「合併が取り組むこと」とし、合併に対する今後の県の考え方として「まずは県内漁協と系統団体自身が合併に向けた問題解決することが必要。動向を見守りたい」と述べた。

子供安全対策推進など署名簿を提出 公明県議が知事に 公明党県本部の小泉利治副代表ら同党の県議四人が二十九日、県庁に二井知事を訪ね、「子供の安全対策の推進」と「女性の健康支援策の充実」を求め署名簿を提出した。署名は三月中旬から二週間実施した。同党の全国的な取り組み。子供の安全対策の推進では、学校の安全管理体制の総点検や見直し、施設整備、警備体制の強化など、学校や登下校時の安全対策の強化を緊急要請。県内で四十七万九

百七人の署名を集めた。「女性の健康支援策の充実」では、年々、乳がんによる死亡率が上がりつつあるとして、がん発見に有効なマンモグラフィ（乳房X線撮影）検診の早期導入を図ることや、現在五十歳以上が対象の視診とマンモグラフィの併用検診について国の方針を見直し、対象を四十歳以上に改めることなどを求めている。山口市内などで六万九千二十一人の署名を集めた。小泉副代表は「社会不安がある情勢の中で署名活動、要望活動を行い、安心感を与えたい」と話している。

付近の交差点には



この交差点は、白線や道路標示が老朽化でかすれ、交通安全上、極めて危険な状態となっていた。昨年12月、地元の大田コユウさん、小泉議員と協議して、県警などに早

と、横断歩道の白線4急な改善策の実施を求めた。大田さんは「小学校周辺の通学路になっているよう修復され、周辺住民の心配がなくなった」と喜びを述べている。これで子ども等の安全が確保できると笑顔で語っていた。

雇用対策促進を 公明党が県予算要望

公明党県議団(小泉・非正規社員の仕事
利治団長、四人)は八
員化を含めた雇用対
策。小児医療助成所
成へ向け、税金の無駄
遣いの徹底チェック、
中小企業の活性化、雇
用対策の促進、ドクタ
ー(へリ)などの医療体制
の充実を四本柱にした
百五項目を、二井閣成
知事へ要望した。
昨年より七項目多
く、新規は若年層の県
内就職定着(リータ

民主党は63項目 新規に企業誘致など

民主党県連(平岡秀
夫代表)は八日、県の
予算編成に当たって、
若者の県内定住につな
がれる企業誘致を新規
に要望している。ほかに

15日に学校保健研究大会 安全優良校の万倉小など表彰

第四十二回県学校保
健研究大会(たぐまし
い山口)を今年よう
うは、十五日前十
時から県庁の職員ホ
ールで開かれる。
県教育委員会、県学
校保健連合会の主催
で、健康教育推進や学
校環境衛生、学校安全
などの優良校、功労者
表彰、県業前会の西
村正広会長の特別講演
「学校業前会を活用し
よこし、宇部市学校保
健会など六団体の研究
発表がある。県内学校

放棄地の有効活用推進
で食料自給率向上、薬
物犯罪防止対策の強化
など十八項目。
「厳しい財政運営の
中にあることも、各項目
に真摯(しん)に」対
処を」と要望した。
(赤川)

環境関係者約二百五十
人が参加する。(赤川)
地元関係の受賞者
団体は次の通り。(敬
小柴兼教諭)▽学校保
健連合会特別功労表彰
良校▽厚陽小学校安
全優良校▽万倉小学
校環境衛生優良校▽
高泊小▽県学校保健連
合会表彰学校保健功
者▽小泉真里子(須恵
小柴兼教諭)▽学校保
健連合会特別功労表
彰▽垣田弥生(有帆小
学 科医)

「春呼び起こす戦いを」 公明党新春懇談会

公明党宇部総支部
た。
(小泉利治総支部長)
の国政報告会と新春懇
談会は十九日、国際ホ
テル宇部であり、支持
者や関係者約二百五十
人が参加して、政局の
課題に認識を新たにす
るが、われわれの手で
春を呼び起こす戦い
を」とあいさつ。
県本部代表の榎屋敬
悟院議員は「補正予
算を一日でも早く成立
させることが最優先課
題。定額付金は批判
されたが(野党にも)
おおむね理解をいた
した」と思っている。関
連法案を含めて、でき
れば今週中に仕上げた
い。地域の消費拡大に
知恵を出してもらえ
た」と理解を求めた。
谷台正明参院議員
(比例区)も「補正予
算を早く成立させる」ことが今年の課題
とが県対策と訴え、そのためにも、まず勝
「新市場の開拓や内需 大なければ」と支持を
の拡大で雇用を創出す
呼び掛けた。(岩村)

山口県議会

公明党山口県議団
(小泉利治団長)はこ
のほど、二井閣成知事
に対し、2009年度
予算編成に関する要望
書を手渡した【写真】。
これには、党県本部代
表の榎屋敬悟院議員
(衆院選予定候補)比
例中国ブロックと県
議団のメンバーが参加
した。
要望書は、①税金の
無駄遣いの徹底したチ
ェック②中小企業の活
性化③雇用対策の促進
④ドクターヘリを含む
医療体制の充実⑤の
4点を柱に、全105



山口・周南市

公明党周南市議団
(吉平龍司代表)は先
ごろ、島津幸男市長に
対し、市民生活の向上
に関する申し入れを行
った。吉平代表のほか、
森重幸子、反田和夫、
金井光男の各市議が参
加した【写真】。
吉平代表は、10
0年に一度といわれる
経済危機が、市民生活
や多くの企業などに敵
しい影響を及ぼしてい
ると指摘。2009年
度予算編成に際し、「差
し迫った重要な課題に
対しては特別な対策
を」と強調した。



その上で、①相談窓
口の円滑対応など中小
企業支援の実施②定
額給付金支給の実施に
向けた態勢整備③妊婦
健診のさらなる拡充④
里帰り出産への対応④
救急患者搬送用の臨時
ヘリポート確保など救
急医療体制の整備強化
——など6項目を要望
した。



国政報告をする榎屋代表(国際ホテル宇部)

公明党県議団も

公明党県議団は二十六
日、県に対し、福祉医療費
助成制度の一部負担金導入
などの見直し方針をあらた
めるよう申し入れた。
申し入れ書では、医療費
の一部負担を本人に求める
など県の見直し方針は「障
害者や母子家庭など弱者の
人たちへの負担と、県の少
子化対策の後退が懸念され
る」と指摘。
一部負担金の導入と、医
療費を本人が医療機関で払
ったあと市町の窓口で払い
戻しを受ける償還払いへ移
行しないことなどを求めて
いる。

市民法律 相談

4月から3回に

テレホンガイド活用も

小泉利治議員(公明) して収集し、市民の照会... 山根 総務部長 今後、防犯情報をテレホンガイドで提供すること... 小泉議員 職務としての... 山根 総務部長 阪神大... 小泉議員 無罪市民法律相談をさらに充実しては... 藤田市長 県弁護士会... 部地区会の協力で月一回開設しているが、四月から... 小泉議員 市営住宅の二台目の駐車券をえられない

3月定例市議会一般質問

負担金導入に反対 公明党が医療助成で申し入れ

県が来年度から福祉部負担金を導入しない医療助成制度を見直し、重度心身障害者母子家庭、乳幼児医療費の一部負担を導入す... 公明党心身障害者らの自己負担分を県と市町が全額補助する制度を見直し、一部負担の導入

と自己負担分の償還払い方式の導入などを検討している。 同県議団は「弱者への負担と少子化対策の後退が懸念されること、県の動きをけん制して

申し入れ書は知事が出張中のため健康福祉部の大窪主任審議監に手渡した。(赤川)

「無味乾燥で苦しい」と指摘さ 明苑が、昨年九月の市議会本会議で、今後の見直しをたのびたのに答... 山口県本部は「公文書作成の手引」を制作、今年四月に入って全職員に配布するとともに、周知徹底を

「公文書作成の手引」を制作、今年四月に入って全職員に配布するとともに、周知徹底を... 小冊子で、市では約二千部を印刷し

「遺囑」とか「鑑(かんが)み」などの、不明確であったり、回りくわい言葉を見直し、新たに百七十語の言い換え例を掲載、さらに各部局・課の職員に配布し、やさしい言葉を使うよう、周知徹底に努めている。

オストメイト対応トイレを

街頭署名活動スタート



県内の公共施設にオストメイト対応のトイレを設備することを県に要望するため、公明党山口県本部などが29日、ゆめタウン宇部で街頭署名活動を行った。この日の宇部を皮切りに9月末まで県内各地で実施し、10月上旬に二井関成知事に提出することとしている。

除摘手術などを受け、腹部に人工肛(こう)門を設けることを県に要望するた人のこと。日本全国で約30万人が社会復帰して... 街頭に立ち、買い物客らに多目的トイレの必要性を訴えた。2万5000人の署名を目標に、来月未まで県内各地で運動を繰り返す。

山口県本部

立党精神を確認

「立党精神を研さんし本格派の地方議員に育とう」と山口県本部は五日、山口市内で新人議員研修会を開催。先の統一選で当選した新人議員など六人が参加し、研修会では、稲勇一郎県本部長が「公明の歩み」と題して講演した。同本部

長は公明党の三十年間の歴史を紹介しながら、立党精神を訴えた。次いで小泉利治・宇部市議が、四年前で千五百件の市民相談を行い、実績を四十号に及ぶ二新聞で紹介してきたと活動報告を披露し其感を呼んだ。広石聖樹会局長(防府市議)は本議、委員会



熱心に立党精神などを研さんした山口県本部の新人議員研修会

など二年間八回の研修会を企画している。

ボランティアの活動写真で



宇部市は、ロシア船による重油流出事故で重油が汚染した福井県三國町などの回収作業の様子を撮影した「重油回収ボランティア写真パネル展」を、七日から十一日まで市役所ロビーで、ま

まで市役所ロビーで、ま

た八日から十日までシル

パル展の準備をする

関係者

宇部市からも何人かがボランティアで現地に赴き、回収の作業にあたり、写真展は、参加者の提供した写真を借りて防

火、児童家庭課が開催するもの、回収作業風景

を、七日から十一日

「災害は終わっていない」

をもちいている。人海

戦術しか発効のある手段

はないとして、全国から

回収のためのボランティア

アが訪れて作業。極寒の

なかでの作業で五人の死

亡者も出している。

三月六日三國町が終息

宣言を出し、三十日に

ボランティア本部を解

散した。

写真提供者は次の人た

ち、(敬称略)

大井 小栗治、木

下 文雄、塩田 弘治

加賀市で唯一、ボランティアセンターが活動をつづけている。一日二千人もいたボランティアも、いまは数十人程度とい

防炎課職員自身もボランティアで重油回収などの作業にもあつた弘中秀治さんは「観光事業などのからみで終息宣言を出したとも聞いている。ひと見ただけではキレイに見えるかもしれないが、石をめぐると重油がベタベタという話も聞く。その意味ではパネル展示が、また災害は終わっていないというメッセージにもなる」と話した。

重油回収の現場70点

宇部市役所ロビーで、ま

重油汚染の実態とボランティア活動紹介

11日まで写真パネル展

「重油回収ボランティア写真パネル展」が、七日から市役所ロビーで始まった。重油で真っ黒に変色した訪れた市民らは、改めて重たテトラポット、青い日本油で汚れた海岸の様子を知り、事故の重大さを教えられた。ボランティア本部で活

展は、十一日まで。向

足するボランティアの様子

展示会は、十日までシル

ふれあいセンターでも同

開催されている。

市防災課、児童家庭課が

主催。宇部から重油が漂

れた重油の現物や、回収

した福井県三國町などの

地に赴き、ボランティア

業にあつた四人の提供写

真をもとに展示会を開

た。

カラーのワイド四つ切り

合わせて七十点を展示。市

役所ロビーでは、正面玄関

坂口大臣が来宇

小泉県議を激励

時局講演会に1800人

公明党

公明党の坂口力厚生労働大臣を囲む会と時局講演会が八日、宇部市内の小路二丁目二の必勝に二

会場であり、計千八百

人の党員らが来場。「ま

丸となって取り組むこと

を誓い合った。

統一地方選をにらんで

じめに働く人が報われる

社会の実現」を旨とする

厚労相の政治活動に耳

を傾けながら、四月の県

選の宇部市



再選に向けて支持を求める小泉県議(壇上)は坂口厚労相、宇部全日空ホテルで

さんが「県議に初当選してから四年間、皆さんの声の代表者として、福祉、教育、環境など各分野で実績を残すことができたと思つ。地方分権が実行段階に移った今、地方議員の役割はさらに重要性を増している。今後も、現場第一主義をモットーに、中小企業や労働者を支援し、活力ある元気な県づくりに取り組みたい」と訴え、支持を求めた。

坂口厚労相は「少子高齢化が進めば、労働者数に比例して国の経済力を示すGNP(国民総生産)も減少する。経済成長のためには、必死になつて生産性の向上や新しい何かをつくり出す努力が必要。高齢者や女性が働ける環境づくりの整備と同時に男性の労働形態の改善も求められる。社会保障についても、問題を先送りしない姿勢が大切」と話した。

美祿郡区(定数六)は新

局講演会に臨んだ。

二人を含む七人が立候補を表明しており、少数

激戦が見込まれることか

ら、小泉県議を応援する

ために宇部全日空ホテル

で囲む会、記念会館で時

衆院選への支援求める 出馬予定の榎屋、笹井さん熱弁

公明党の時局講演会には、支持者の引き締めを、政公社の民営化も大事な十二日、宇部市の記念会 図った。「道路公団や郵 館であり、約千三百人が 来場。二十八日告示の衆 院選に向けて、中国比例 ブロックから出馬予定の 榎屋敬悟・前衆院議員と 新人の笹井茂智さんが、 支援を求めた。

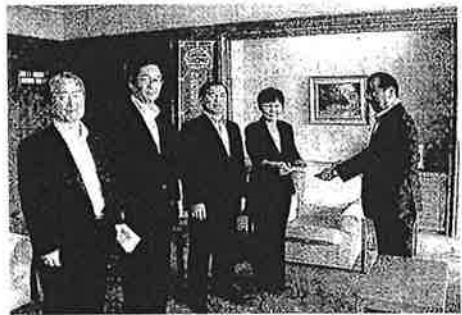
公明党が時局講演会



会場を埋めた支持者を前 (自己紹介する笹井さん (記念会館で)

にかかわる年金で勝負し たい」などと、公明党の マニフェスト(政権公約) の一端を訴えた。 岡山県総社市に住む笹 井さんは、J-A岡山中央 会に十七年間勤務した実 績を基に、農業振興にか ける情熱をアピール。国 政の場で活躍したいと意 気込みを語った。

復旧・2次災害対策を急げ 被災者救済を県に要望



西村副知事(右端)に対し、速やかな復旧支援を求める党山口県議団

7月の中国・九州北 部豪雨で甚大な被害が 出たことを受け、公明 党山口県議団(小泉利 治団長)は3日、二井 関成知事に対する緊急 申し入れを行った。西 村亘副知事が対応し た。

席上、小泉団長らは、被災地での調査や、被災者からの要望を踏まえ、「速やかな生活支援と、行政の手が届かない私有地内の復旧支援を」と述べ、現場に

で団 害議 被災 山口 復旧 要望

応じた適切な対応を要 望。 その上で、①激甚災 害早期指定への働き掛 け強化②被災者への生 活支援対策の実施③2 次災害防止対策の推進 ④危険個所の見直しに

より砂防ダム整備の促 進を求めた。 西村副知事は「公明 党の迅速な対応によっ て、(通行止めとなっ ている国道262号 止に全力を挙げると 答えた。

ら山口インターチェン ジ間の高速道路が無料 になった」と謝意を示 した上で、「県として も全面的に2次災害防 止に全力を挙げると 答えた。

公共空間は全面禁煙に 小泉議員 ガイドラインを年度内改定

たばこ対策で小泉議員は「受動喫煙によっ て世界中で年間約六十 万人が死亡している」 七日から一般質問が始 まり、初日は小泉利治 と指摘し、見直しの現 議員(公明)ら四議員 状を尋ねた。

は飲食店など新たな関 中退問題などについて 係者を加えた検討会議 も開いた。児童虐待防止 を踏まえ、公共的空間 対策については「宇部 の全面禁煙、受動喫煙 地域に児童相談所を 防止、若年層対策など を柱に改定作業中」な と求めた。今村部長は 「相談所の数は全国ト ップレベルだが、体制 の充実を検討したい」 と答えた。

県議会一般質問

十一月定例県議会は 孝子健康福祉部長は 「国が今年春に示した 新たな方針を受け、今 年度中に公共的空間を 全面禁煙とする方向で 見直したい。また、受 動喫煙防止には県独自のルールを設けたい」と答えた。

署名運動通し 念願の信号機 山口・宇部市 宇部市上条3丁目の 市道に昨年暮れ、車両 ・歩行者用の信号機が 設置され、住民から安 心して横断できます。一 と喜ばれている【写 真】。



つている。市 道・上条金山線 は県・国道の 迂回路で朝晩 を中心に交通 ラッシュが激 しく事故も多 発していた。 両地区の住民は昨年 夏、公明党の小泉利治 県議、安藤巧・宇部市 議を仲介に信号機設置 を求める署名を宇部署 察署に提出していた。

介護施設 入所者の安全確保を

グループホームを視察 齊藤氏ら

公明党広島県本部 齊藤氏は10日、広島市南区のグループホーム「N.T.T.」を視察した。同市消防局長らも同行した。



グループホームを訪れ、防火対策の状況を開く齊藤氏(右端)＝10日 広島市

グループホーム「ケアポート広島」(原民夫施設長)を視察した。これには安木和典、田辺直史の両県議、渡辺好道広島市議が同行した。

防火対策で申し入れ 山口、岡

山口、岡 広島

市村の施設で自立歩行困難な高齢者の救出に遅れが生じたことを取り上げ、(1)夜間緊急時の人員配置の防災用の安全設備、(2)防火対策の状況、(3)夜間緊急時の人員配置の防災用の安全設備を聞いた。

山口県本部でも上岡康彦、石丸典子の両県議が同日、防府市内のグループホーム「楽さん家」を訪れ、防火対策の整備を聞いた。

自民、公明の与野政策一対を併せ、国としても全

長崎県大村市のグループホーム火災を受け、公明党山口県本部(局長)と同市の運営について、夜間の避難対策や近隣住民、近隣施設、消防機関との協力体制について、認知症高齢者グループホームの防火安全対策にかかわる緊急申し入れを行った。



グループホームの防火安全対策を申し入れる公明党山口県本部＝10日 山口県庁

負担金導入に反対

公明党が医療助成で申し入れ

県が来年度から福祉一部負担金を導入しない医療助成制度を見直し、重度心身障害者、母子家庭、乳幼児医療費の一部負担を導入する動きについて、公明党県議団は(小泉利治団長、四人)は二十六日、二井関成知事に

と自己負担分の償還払い方式の導入などを検討している。同県議団は「弱者への負担と少子化対策の後退が懸念される」と、県の動きをけん制している。

申し入れ書は知事が出張のため健康福祉部の大窪正行審議監に手渡した。(赤川)

かすれた白線を修復し安全確保

山口・宇部市

宇部市鵜の島小学校付近の交差点にこのほど、横断歩道の白線4カ所や「止まれ」の道路標示などが、はつきりとしたラインになるよう修復され、周辺住民から喜ばれている。



この交差点は、白線や道路標示が老朽化でかすれ、交通安全上、極めて危険な状態となっていた。昨年12月、地元の太田コツユさんから要望を受けた市議会公明党の安藤巧議員は、小泉利治県議と連携して、県警などに早急な改善策の実施を求めた。

大田さんは「小学の通学路になっていたので心配していたが、これで子どもの安全確保できる」と笑顔語っていた。



今回、時差式信号が設置された交差点は、隣接する山陽小野田市の住民も利用し、交通量が多く、自動車の右折が大変危険な場所。一混雑時は右折できない。何とかしてほしい。何とかがしてほしい。

ドクターヘリに救われた

公明党の取り組みに感謝の手紙

今年1月22日に運航開始した山口県のドクターヘリに命を救われた、同県長門市に住む梅村由子さん(60)から、このほどドクターヘリの導入を推進した

山口県

公明党山口県議団の小泉利治団長に感謝の手紙が届いた。6月7日、小泉県議と先野正宏・長門市議が梅村さんを見舞い懇談した。

手術は約10時間にも及んだが無事成功。「九死に一生を得ました」と由さんは振り返る。術後の経過は順調で、後遺症もなく、3月2日には退院でき、その数日後には車の運転ができるまでに回復した。

由さんは入院中、テレビで小泉県議の県議会代表質問を見た。小泉県議はドクターヘリの運航状況に魅力、初出動で救われた由子さんのことを紹介した。由さんは「どうしても一筆をしたた

へり導入を進めてきたのが、小泉県議をはじめとする公明党山口県議団だ」と聞き、ペンを取りました。ドクターヘリでなければ、私は生きてなかつたと思います。本当にありがとうございます」と感謝の思いがこぼれ出た。

今年7日の懇談の際にも、由子さんと康雄さんは、あらためて公明党の取り組みに対して謝辞を述べた。

これに対して、小泉県議は「命は何ものにも代え難い。さらなる運航態勢の強化に努めていきます」と語った。

山口県のドクターヘリ導入は、党山口県議団が一貫して推進し、実現させたもの。5月末時点で出動は51件。東日本大震災の救出活動にも派遣され、宮城県仙台市、石巻市で2日間にわたり、被災地の患者・家族の救急搬送に当たった。



「公明党に感謝しています」と語る由子さん(左から2人目)、康雄さん(左端)夫妻と小泉県議(右から2人目)ら

「導入なければ、私は生きていない」

くも膜下 初出動で救急搬送 出血の女性

だど片道1時間以上かかる道のりを、15分で到着。県ドクターヘリの初出動に搬送された。救急車

めなければ」と退院後、小泉県議に手紙を書いた。手紙に「クター

地中熱の活用を期待 省エネ空調システムを調査

公明党山口県議団が同行した。小泉利治団長は6月27日、自然エネルギー「地中熱」を利用した24時間空調換気システムを開発した山口県美祢市の株式会社「ジオオパワーステム」を視察し、同社社長と懇談した。岡山隆・美祢市議



地中熱による空調換気システムについて話を聞く山口県議団ら

として、新規17項目を加えた計112項目を要望。重点項目として①防災・減災対策の強化②中山間地域振興対策の充実③中高年の再就職支援④不登校、いじめ等の未然防止策の促進⑤学校耐震化とバリアフリー化の推進などを訴えた。

防災・減災対策の強化を求める

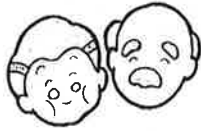


として、新規17項目を加えた計112項目を要望。重点項目として①防災・減災対策の強化②中山間地域振興対策の充実③中高年の再就職支援④不登校、いじめ等の未然防止策の促進⑤学校耐震化とバリアフリー化の推進などを訴えた。

住み続けられる



中山間地域へ



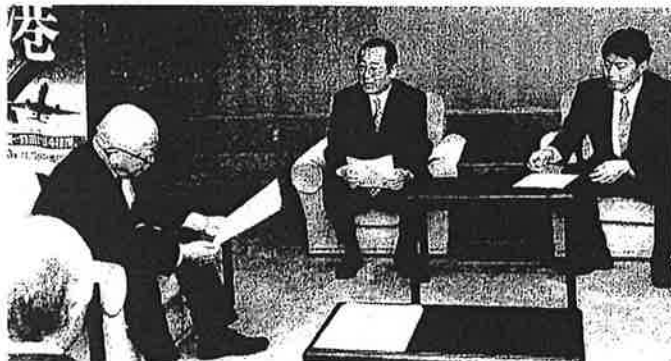
「中山間地域の暮らしを守る」
 山口県議会の中山間地域振興
 対策特別委員会（上岡康彦委員長、
 公明党）は、人口減少や高齢化など
 に直面している中山間地域の実態を



山口市仁保地区を視察する党山口県議団のメンバーら

1年半にわたり調査。報告書を取り
 まとめ、このほど、山本繁太郎知事
 に、県の組織体制の充実や高齢者支
 援などを柱とする中山間地域振興施
 策を提言した。

対策などの観点から中山間
 地域の実情を探った。
 同委員会は、2011年



山本知事（左端）に振興策を提言する上岡委員長ら

門市、美祿市）や中山間地
 域の特性を生かした修学旅
 行生の受け入れ（周防大島
 町）、空き家・廃校を活用
 した田舎暮らし体験（下関
 市）など、中山間地域で独
 自に取り組みが進んでいる
 事業を視察したほか、特定
 非営利活動法人（NPO法

告書」によると、県土の約
 7割を占める山口県の中山
 間地域は、人口減少、高齢
 化に伴い、65歳
 以上の高齢者の
 割合は35.0%
 に達する。19
 80年の15.4
 %から大幅に高
 まっており、小
 規模・高齢化集
 落の増加や担い
 手不足が顕著に
 なるなど、課題
 が山積してい
 る。

また、「行政
 の取り組みが現
 状に追いついて
 いない」「高齢
 者の独居世帯な
 どにナイトサー
 ビスや地域の見
 守り体制の構築
 を」「中山間地
 域の実態に即
 し、朝市の鮮魚
 販売や合併処理
 浄化槽の設置な
 ど規制緩和が必
 要」など、現場
 の声が生かされて
 いる。
 これを受けた知事への提
 言では、市町との連携を強

知事に振興策を提言

視察重ね現場の実情探る 県議会特別委

同委員会の委員長と
 て、「提言」取りまとめ
 要役となった上岡康彦は
 のほど、公明党山口県議
 の小泉利治、石丸典子、
 田原の各県議と共に、山
 市の中山間地域を視察。
 高齢化率約35%の同市仁保
 区で農家を営む梶本五生
 人（70）から事情を聞いた。
 梶本さんは「地区内の高
 化、人口減少は顕著だ。
 家の担い手も少ないため
 耕作放棄地が増え、鳥獣
 害も深刻だ」と訴えた。
 上岡県議は「中山間地
 の住民が住み続けられる
 境づくりに全力で取り
 む」と語っていた。

同委員会が実施した実態
 調査は、中山間地域に暮ら
 す住民の実態に即した振興
 策を提示し、中山間地域づ
 くり役立てるのが狙い。
 「福祉・生活サービス対
 策」「生活基盤の維持確保」
 「地域住民主体の地域づく
 り」など五つの調査項目を

定め、買い物、通院など高
 齢者の交通手段や高齢者世
 帯の見守り体制、鳥獣被害

6月～12月にかけて、
 「交通弱者」を対象にした
 移送サービス（山口市、辰

人などの関係者から意見
 を聞いた。
 同委員会がまとめた「報

県の組織体制充実、 高齢者支援など柱に

公明議員が

要役として推進

若者の雇用実態探る

谷合氏ら ジョブカフェを視察

山口市



山口県内の雇用状況などについて話を聞く谷合氏(左から3人目)ら

公明党の谷合正明青
年委員長(参院議員) 状況などについて話を
聞いた。小泉利治県議、
はこのほど、山口市内 原ひろ子、佐田誠二、
の「県若者就職支援セ 村上満典、其原義信の
ンター」(ジョブカフ 各山口市議が同行し
エ)を訪れ、重永敏二
センター長らから利用 同センターは、39歳

程度までを対象に、キ
ャリアカウンセリング
やセミナーを中心とし
た就職支援をワンスト
ップで提供している。
一行は、山口県内の

雇用状況や新卒者支援 視野を広げた就職活動
などの取り組みについ を呼び掛けている」と
て質問。重永センター 説明した。
長は「昨年度の県内大 谷合氏は「公明党は
卒者の約1割は未就職 この秋、全国47都道府
で卒業し、非常に厳し 県を対象に『若者と中
小企業の雇用実態調
査』を実施する。その
側でミスマッチが起き 調査結果を基に、政策
立案をしていきたい」と
語った。

再エネ普及を促進

党県団「長州産業」を視察

山口市 山陽市 山小

公明党山口県議団 ネルメーカー「長州産
(小泉利治団長)は1業」(岡本要社長)を
月25日、再生可能エネ 訪問し、担当者から話
ルギーの普及状況を探 を聞いた。

野田市の太陽光発電パ 同社は、太陽電池の
基幹部品となるセルの
製造や太陽電池モ
ジュール(パネル)
の組み立てを同一
工場内で一貫生
産。同社のモジュ
ールは、中国電力
のメガソーラー
ソーラーパネルに
ついて話を聞く党
山口県議団のメン
バー



山口県議団のメン

(大規模太陽光発電所
山陽市)に採
用されている。
同社の尾葉石廣巳・
取締役総務部長は、太
陽光発電システムの現
状について「買い取り
価格が、1キロワット42円
だったため、かなりの
事業者が導入に手を挙
げている。生産が追いつ
かないほどだ」と説
明。小泉団長は「再エ
ネの普及を下支えする
施策に取り組み」と語
っていた。

現場の声が生きた政策



小泉 利治

謹んで新年のお喜びを申
上げます。皆さまには輝
かしい新春をお健やかにお
迎えのこと心からお喜び
申し上げます。日頃より、
心温まるご支援を賜り厚く
お礼申し上げます。
昨年は、2020年に東
京でオリンピック・パリリ
ンピックが開催されること
が決定されました。
日本経済にも少し明るさ
が見えてきたようでありま
す。
自公連立政権がスタート
してから1年、経済は回復
軌道へと転じ、企業による
賃上げの兆しが見え始め
予算枠拡大などで着実に前
進してきました。
また、社会保障と税の一
体改革については、社会保
障に対する国民の将来不安
を解消し、制度の持続可能
性の強化をさらに進めなけ
ればなりません。
公明党がこれまで訴えて
きたように、消費税率の引
き上げについては、10%へ
の引き上げ段階からの軽減
税率の導入を図り、低所得
者対策を確実に実施してま
います。
私も、地方の政治家とし
て国会議員のネットワーク
を最大限に生かし、現場の
声が生きた政策を政治に反
映させてまいります。
さて、本年は公明党結党
50周年を迎えます。皆さま
に支えられての半世紀でし
た。
「これからも『大衆とこ
に』との立憲精神を胸に、
「現場第一」「庶民の目線」
を堅持し、さまざまな課題
に挑戦してまいります決意で
す。
そして、私ほもう一度全
ての原点に返り、皆さまの
ご期待に沿うよう頑張っ
てまいりますので、今年もよ
ろしくお祈りします。
皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう
心よりお祈り申し上げ、年
頭の「あいさつ」といたしま
す。

豪雨で浸食した
護岸の整備進む

山口・萩市

公明党の小泉利治県議と中村
洋一、佐々木武夫の両萩市議、
佐々木公恵、党副支部長は14日、
明木川の護岸整備が進む市内佐
古地区を視察した【写真】。
工事は近年の豪雨で浸食した
土部分をコンクリートで補強す
るもので、3月末に完了予定。
2年前、川沿いに小屋を所有
する江舟浩行さんから「このま



ま放置しておけば工場が流され
てしまう」との話を聞いた中村
市議は、小泉県議とともに県秋
土木建築事務所にて護岸整備を求
める要望書を提出していた。

議員の動き

敬称略

命縮める外相職
覚悟している

外務大臣の高村正彦(衆院一区)は十七日、山口市の会場で、総選挙に初めて立候補し近時の思い出から、北朝鮮問題、政局の見通しまで幅広く語った。「一度は立候補の要請を断ったが、大立総理の時の



ハプニング解散のニュースをタクシーの中で聞き、決意した。父は金脈は残さなかったが、『人の人の恩恵なら』という信用を残してくれたと、故・坂彦氏に感謝した。外務大臣について、「できれば体力のある六十歳前になりたいと思っ

また、小淵首相の支持率上昇を「必要な政策をきちんと打ち出した結果。国際的な評価も高くなっている」と高く。地方分権は「地方の人が実現を望まなければできない」と指摘し、「二〇〇一年の山口きり」博にもいくらかも協力するが、アイディアは地元から持ってくるにはいいと要望した。

「支持者は国のために頑張れと言ってくれるが、甘えもどなく、地域の発展のために頑張る」

「支持者は国のために頑張れと言ってくれるが、甘えもどなく、地域の発展のために頑張る」

きめの細かい経済振興策を

「相談」が多いのが自分の宝」と言いつつ県議の小泉利治(民公連、宇部市美祿郡)は、スケジュールで真黒の手帳を広げた。宇部市議時代は、相談で得た知識を生かし、二期八年間本会議で一度も欠かさず質問した。

六月県議会で「民主」

公明・連合の会」の一員として一般質問し、養護学校の図書館の充実やチャイルドシートへの補助について県議になつて百五十万人になった」

宇部市美祿郡は、農家の冷え込みが県内でも特に厳しい。「宇部興産がクシヤミをすれば、下請けは風邪をひく。経済振興策は、の



どが潤いた馬に水を用意するだけではダメ。馬を水飲み場まで連れていくきめの細かさが必要と強調した。支持者らの集会では「県政はここにあると思いますか」と問い掛ける。答えは「あなたのポケットの中の私の名刺が県政。いつでも連絡してください」。名刺は一万五千枚を配布し、県政は指柄が高い。庶民の手

2007年9月15日(火) 宇部日報

交流の積極推進を

日韓親善協 8月にはソウル旅行計画

宇部市日韓親善協会を誓った。岩村実会長(百八十人)の総会と懇親会は十四日、ホテル河長で開かれ、評で、大勢の受講者が勉強と友好を深めることは設立十周年を迎えるの



あいさつする岩村会長(ホテル河長で)

で、大きなイベントを期は三年、敬称略)「大きい」とあいつつ。

来賓の藤田忠夫市長は「韓国の映画やドラマを目にするのが多く、身近に感じる。両国は地理的にも歴史的にも近い。日韓の市民交流をますます活発に」と呼び掛けた。

今年度の重点目標は▽親善交流の積極的な推進▽韓国語講座の開催▽会員増強の一の三。八月には三日間のソウル旅行を計画している。総会に続く懇親会では、県日韓親善協会連合会の岡井正事務局長や駐大韓民国総領事館の長、裴東烈(同団長)▽朴時正領事が祝辞。民団宇部支部の裴東烈団長の音頭で乾杯した。出席者はビンゴゲームなどの余興も楽しんだ。新役員は次の通り。(任事務局長)▽顧問▽藤田忠夫(市長)▽河村建夫(衆院議員)▽副会長▽岩村実(市長)▽副会長▽韓賢澤(民団県本部監察委員)▽理事▽小泉利治(県議)▽山本哲也(市議)▽伊藤隆司(宇部観光コンベンション協会会長)▽光井一彦(宇部マテリアルズ社長)▽廣田力(イトオ楽器社長)▽伊藤洋文(元市交通局長)▽片上宏(元市常盤遊園協会常務理事)▽山根正弘(市議)▽事務局次長▽金井元(民団県本部顧問)▽金永大(民団顧問)▽吳漢俊(同副団長)▽鄭守元(同副団長)▽裴東烈(同団長)▽監事▽飯田幸正(元市議)▽吳漢相(民団議長)▽事務局次長▽伊藤幸雄(元市環境部長)▽事務局次長▽岩村誠(原中央幼稚園事務局長)

2014年3月9日(日) 公明新聞

「健康寿命」延ばそう

公明が 自治会が連携し会設立

地域を挙げて健康寿命を延ばそうと、山口(村田厚生会長)を発足させた。設立総会には久保田后子市長はじめ校区内の自治会長らも参加した。

同組織は、校区内の自治会や各種団体、企業が一元となり、健康で元氣な地域づくりをめざす。

参加対象は、18歳以上で、同組織の立ち上げに賛同する自治会、企業、同校区内で自治会長を務める公明党の小泉利治県議が尽力。実行委員長として組織基盤の構築に取り組んできた。

「平均寿命と健康寿命の差を縮めることで、医療費の抑制などにつなげていきたい」と小泉県議は話している。



設立総会であいさつする小泉県議(左)と山口・宇部市

上で校区内に在住、在勤、在学している人。参加者は同組織が作成した45項目の「健康づくりメニュー表」から水泳や卓球、ダンスといったスポーツのほか「間食を減らす」「1日(1)歩歩く」など好みの項目を選び実践していく。

2014年5月31日(月)

小水力発電の効果検証

山口県

農業用水路に簡易型設備



農業用水路に設置された小水力発電設備を確認する党山口県議団のメンバー(右側)

(6)

公明 次世代エネルギーの普及に全力

山口県は昨年度から、農村地域の水源を有効活用するため、農業用水路に簡易型の小水力発電設備を導入し、効果を検証している。公明党県議団の小泉利治、先城憲尚、石丸典子、上岡康彦、曾田聡の各議員はこのほど、今年3月に設置された同県秋吉福栄地区の小水力発電設備を視察し、県の担当者から説明を受けた。

小水力発電は、一般河川や砂防ダム、農業用水路など「落差と流量」があれば、当者は「県内のさまざまな年間を通して安定した発電が可能。今回の検証は、県が農業用小水力エネルギー等を活用促進事業によるもので、同地区では水流を利用して出力5キロワットの発電する。売電はせず、有害鳥獣の侵入防止柵として取り付けた電気柵に電力を供給する。事業の運営は水を促進してきた。

2014年6月12日(木) 公明新聞

路面に制限速度 標示し安全強化

山口・宇部市



路面標示が施され、地域住民から喜ばれている【写真】。

整備された箇所は、歩道が狭い上、現場近くの高校に通う生徒たちが利用するため、最高速度が30キロに規制されている。標示は設置されていたものの、スピードを出して走る車が後を絶たず、付近の住民からは車と歩行者との接触事故を心配する声寄せられていた。こうした状況を、党員の石井巧さんから聞いた公明党の小泉利治県議は昨年8月、県公安委員会に対して改善を図るよう訴えていた。路面標示が施されたことを受け、石井さんは「ドライバーの意識向上につながってほしい」と話している。

2014年6月1日(日)

道路総点検実施
へサンプル調査
党山口県本部
公明党山口県本部は現在、道路総点検プロジェクトチーム(小泉利治隊長、県議)を中心に、安全・安心の街づくりに取り組んでいる。



道路総点検の実施を促していくのが狙い。サンプル調査は、道路などの調査診断を手掛ける「ジオ・サーチ株式会社」(富田洋社長)が5月に実施。同社の開発した空洞探査機器を搭載した車両を走らせ、県内7市の県道と市道の一部を調べたところ、県道は10カ所、市道は38カ所で空洞が発見された。小泉隊長は「サンプル調査の結果を6月議会を取り上げ、県民の命を守る道路の総点検を行政に働き掛けていく」と語っていた。

2014年8月7日(木) 宇部日報

山門自治会 30年ぶりラジオ体操復活 健康づくりと3世代交流



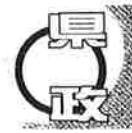
ラジオ体操に励む参加者たち(7日午前6時半すぎ、山門会館前で)

かつては夏休みの定番だったラジオ体操。ライオンスタイルの変化や会場

300世帯は今夏、約30年ぶりに復活させた。老若男女が早朝から体を動かし「朝ごはんがおいしくなった」「顔見知りが増え、あいさつが活発に」などと好評だ。同校区が2月に立ち上げた「健康かみっぺ21」の実行委員長でもある小泉会長が「仲間づくり、健康づくりの輪を広げたい」と7月21日から8月9日まで開催することを決め、全戸配布の自治会だよりで周知を図った。日々の参加者は30〜50人。ラジオの全国放送に合わせ、午前6時半までに山門会館前に集合する。7日には、祖父母宅に帰省中で常連の辻本梨紗ちゃん(5) 岐阜県から、80歳代のお年寄りまで38人が、元気よく手足を伸ばしたり、体をひねったりした。

首から掲げた出席カードに空白以降すらいと印が並ぶ福田夏穂さん(上)宇部小5年(清夏さん(同2年) 姉妹は一朝は眠いけど、体操をするとうきり。たぐさんの人と一緒に体を動かすのは、楽しい」と話していた。会場までの往復がウォーキングになったり、早起きで家族との会話が

えたりする効果も。体操の後、朝食までに宿題をする小学生もおり、規則的な生活リズムの形成に役立っている。他地域への波及を期待したい」と小泉会長。同自治会では、15日午後7時40分からは松月院駐車場で開催予定している。(松原)



小泉議員 特定健診の受診率向上を 県議会9月定例会一般質問

県議会9月定例会は2日、一般質問3日目があり、宇部市選挙区選出の小泉利治議員(公明)が登壇。40、74歳を対象とした特定健診(メタボ健診)の受診率の向上策などについてたずねた。

小泉議員は「健康寿命が伸びれば医療・介護費の抑制効果もある。しかし、県の受診率は38・3%と全国44位。受診率を向上させるには、質問。小松一彦・健康福祉部長

は「本年度は、医療保険者に対する受診率向上のための研修の実施や、県民への効果的な普及啓発、受診率の低い国民健康保険者に対する指導強化を図る」と述べた。子供の自転車運転マナーの向上対策について質問。藤村博之県警本部長は「小学生対象の自転車大会の参加者に子供自転車免許証を渡し、学校でリーダーとして活躍して

「農林水産業担い手支援日本一の実現」へ 新規就業者確保に全力

県議会9月定例会は2日、一般質問があり、合志栄一(新政クラブ)、友広厳(自民党)、小泉利治(公明党)、西嶋裕作(民主・連合)の4氏が、防災意識の向上や1次産業の担い手育成、健康づくり対策、中間地域の支援などを取り上げた。村岡副知事は、策定中の県指針「元気創出やまぐちー未来開拓チャレンジプラン」の素案に「農林水産業担い手支援日本一の実現」を掲げていることを示し、「重要な産業である農林水産業の将来を担う新規就業者を一人でも多く確保、育成するよう全力で取り組む」と意欲を示した。友広氏への答弁で説明した。

県議会一般質問

禁煙支援や特定健診促進

小泉氏は、禁煙希望者の支援や若者の喫煙防止対策、特定健診の受診率向上など、健康寿命を伸ばすための対策を取り上げた。小松一彦健康福祉部長は、若年層の喫煙防止につ



小泉利治氏

いて、市町や企業と連携して大学や専門学校への出前講座を実施するなどの取り組みを進めた結果、一定の成果が得られていると説明。県内のがん診療連携拠点病院や健康福祉センターなどで禁煙希望者からの相談を受け付けており、相談員の養成など相談体制の充実に努める考えを示した。全国水準に比べて県内の受診率が低い特定健診につ

太田国交相が政 策懇談会に出席

山口・宇部市

太田昭宏国土交通相(公明党)は11月15日、山口県



宇部市で開かれた党宇部支部(村上恵子支部長)市議主催の政策要望懇談会に出席し、各種団体と意見交換を行った【写真】。

このうち、建設業団体からは、公共事業の労務単価について「発注者からの労働費がピンハネされず、現場の労働者まで確実に支払われる施策を講じてほしい」との要望が出たほか、漁業団体からは、「国の燃

「発信力」強化へ 広宣コンクール

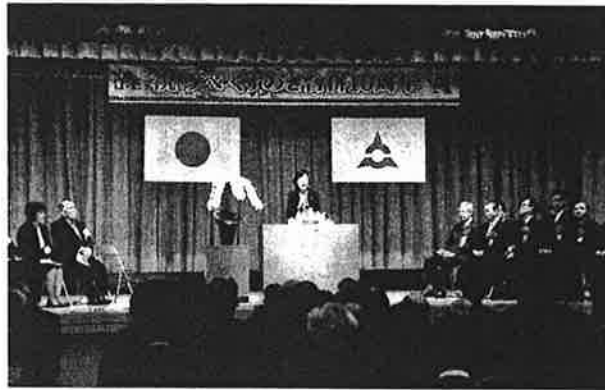
党山口県本部

公明党山口県本部(榎屋敬悟代表)衆院議員は、このほど、山口市内で「広宣コンクール」を開催し、審査結果を発表した【写真】。



今回で8回目となる同コンクールは、議会活動や実績、主張などを盛り込んだ個人報や議会報を表彰するもので、作品の完成度や発行頻度などを審査する。第1位は、写真を効果的に活用した「そのちゃんレポート」(其原義信・山口市議)、第2位は「佐々木きみえ通信」(佐々木公恵・萩市議)、第3位は「先野通信」(先野正宏・長門市議)が選ばれた。 曾田聡・広報宣伝局長(県議)は、「個人報などの製作を通じて発信力を磨きをかけていきたい」と語っていた。

節目祝い市の発展誓う



式辞を述べる久保田市長 (15日午前10時15分ごろ、万倉ふれあいセンターで)



7年後の自分へのエールを発表する子供たち (15日午前10時50分ごろ、万倉ふれあいセンターで)

万倉で合併10周年イベント

うべ・くすのき合併10周年記念イベント(宇部市、同記念事業推進協議会主催)は15日、万倉ふれあいセンターで開かれた。式典や講演会、ワークショップ、ミニグリーンツーリズムなど多彩な催しが行われ、参加者たちは旧宇部市と旧檜町による新市誕生から10年の歩みを振り返りながら節目を祝うとともに、古里の一層の発展へ努力することを誓った。

04年生まれ 児童6人 市制100周年時の自分にエール

式典には、市関係者、来賓、地域住民ら約210人が出席。久保田后子市長はこの10年、多くの人の力、輪によって成果を上げることができた。今後、課題はあるが、取組を強めて、いい方向に持っていかなければならないと思う。さらに市が発展するよう、精いっぱい頑張っていきたい。皆さんの協力をお願いしたい」と式辞。藤部秀則副知事は10周年を契機に、これまでの取組をより充実、強化し、活力をなせる県づくりに共に手を携えて進んでほしい」と、村岡副知事の祝辞を代読し、河村建夫衆院議員、江島潔参院議員も祝いの言葉を述べた。

2015年1月7日 (水) 宇部日報

来社

- ▽小泉利治さん(真議)
 - ▽新城寛徳さん(市議)
 - ▽長谷川耕二さん(同)
 - ▽安藤巧さん(同)
 - ▽池博之さん(公明党宇部支部支部副支部長)
 - ▽西川鯉石美さん(うべ百扇会事務局)
 - ▽花柳寛躬さん(同理事)
 - ▽坂東香昇さん(同)
 - ▽藤間比紗也さん(同)
 - ▽伊藤洋文さん(社会福祉法人南風荘理事長)
 - ▽西重國隆さん(同常務理事)
- 新年あいさつ。

2015年1月5日(月) 宇部日報

地元県議から新年あいさつ



小泉 利治

皆さまには輝かしい新春をお健やかに迎えのことから喜び申し上げます。日頃より、心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

に感謝申し上げます。さて、2010年の調査によると、日本の平均寿命は男性79・59歳、女性86・44歳で、男女ともに過去最高を記録し、世界でも、有数の長寿国と

地域の課題解決に挑戦

異例の超短期間での選挙戦が行われました。公明党の軽減税率導入の訴えに理解を示し、支持を寄せてくださった皆さま方

区では、昨年、健康かみうべ21を立ち上げ、その課題解決に取り組んでいます。私には、こうした地域の

なっています。また、健康寿命は男性70・42歳、女性73・62歳で年々延びているようでありますが、その差は、うした課題を解決するた

2015年1月10日(土) 山口新聞



防災減災対策など要望の重点項目を説明する公明党県議団＝9日、県庁

公明党県議団も 防災対策など要望

公明党県議団は9日、県の来年度予算に対する要望書を村岡知事に提出した。防災・減災対策の強化と人口減少・少子化対策の推進、観光振興策の充実を主な柱とした19の項目について、予算に反映するよう求めた。

重要。直民一体で取り組む必要がある」などと述べた。

2015年3月3日 (火) 山口新聞

議員 小泉 ドクターヘリ累計914件出動 救命率向上と後遺症軽減に成果

県議会代表質問



県議会2月定例会は2日、本会議で4会派の代表質問が行われた。地元関係では、宇部市区選出の小泉利治議員(公明)が登壇。ドクターヘリの実績と効果や、たばこ対策についてたずねた。

小泉議員は、公明党県議団の積極的な要望で導入されたとするドクターヘリの効果について質問。村岡副知事は「2011年1月の連航開始

から救急現場への出動と高度専門医療機関への転送に年間約200件、累計914件の出動があった。救命率の向上と後遺症の軽減に大きな成果を上げている」と回答。今後の効率的な運用について「消防との通信に必要なヘリ搭載無線のデジタル化の支援、ランデブーポイントの確保などの運航基盤の整備を図りたい。消防からの要請や出動の手順の見直し、ヘリに搭乗する専門医師や看護師の初期治療の技能向上も図る」と述べた。健康長寿対策の一つとしてたばこ対策について質問。村岡知事は「来年度、健康被害を受けやすい子供の受動喫煙の機会を減らすため、児童施設周辺での路上喫煙の防止や飲食店のランチタイムでの時間分煙を普及啓発する。禁煙相談に応じる人材育成にも力を入れたい」と述べた。(佐野)

2015年3月27日 (金) 宇部日報

「実績説き支持拡大を」

小泉県議、後援会が事務所開き



支持者を前に決意を述べる小泉県議 (中尾1丁目の後援会事務所で)

小泉利治議員の後援会事務所開きは21日、宇部市中尾1丁目の同事務所であり、支持者20人が集まって土気を高めた。岡山陸選対本部長は、宇部地域の選挙情勢を説明し「油断した者は負け、厳しい選挙となる。もう一度、身近なところから支持を呼び掛け直していく必要がある」とあいさつ。来賓の川崎敦将太陽家会長は「公明党の県議として誠実な仕事を続けていただけると話した。

小泉県議は「今回は、地方再生を託せるのは誰なのかを決める選挙になると捉えている。ドクターヘリ導入など、これまでの16年間の実績を丁寧に説き、有権者一人一人と対話する気持ちで遊説活動を行って、支持を広げていきたい」と決意を述べた。(中尾)

公明党県議団も

公明党県議団は7日、県の2016年度予算に対する要望書を村岡知事に提出した。人口減少対策の推進と暮らしの安心・安全確保、産業力・観光力の強化を柱とした89項目について、予算に反映するよう求めた。

県議団の4人が県庁を訪れ、小泉利治県議団長が村岡知事に要望書を提出。重点項目として子育て支援の充実や介護人材の確保・定着、年間延べ宿泊者数50



2016年度県予算に対する98項目の要望書を村岡副知事に手渡す公明党県議団の小泉利治団長（左から2人目）ら＝7日、県庁

予算編成要望書を提出

自民党県支部連と公明党県議団

自民党県支部連合会と公明党県議団は7日、県の2016年度予算編成に対するそれぞれの要望書を提出した。

自民の要望は、各市町や友好団体から集めた1200超の項目から、超

重点要望事項として47項目に集約。環境福祉、商工労働、農林水産など6分野にわたり、特に優先

度が高い事項として地方創生・人口減少問題、大筋合意した環太平洋経済連携協定（TPP）への

対応を挙げた。

林哲也政調会長は「厳しい財政状況でも、喫緊の課題にはしっかりと取り組んでいく必要がある。優先的な予算配分を」と要望した。

公明は、5人の県議が地元から吸い上げた意見をまとめた。人口減少対策の推進、暮らしの安心・安全の確保、産業力・

観光力の強化を3本柱に、防災・減災対策や子育て支援の推進、介護人材の確保・定着・育成など89項目を掲げた。

小泉利治団長は「県民が安心して未来に希望が持てる政策の実現に必要なこと。知事にも共感してもらったと思ってい」と語った。

（岩本）

おみ2,705円) 1部売り(消費税込み)110円

山口新聞

2016年(平成28年)3月2日 水曜日

山口新聞

YAB5
山口朝日
☎083-933-1111

- 4.23 ショッピング◇52日
- 4.55 グッドノモーニング
- 決戦火曜日トランプは
- ▽富士一転欠場の裏側
- ▽引退三冠王を支えた妻
- 00 羽鳥モーニングショー
- 隣家をゴミ屋敷にした
- 74歳女…約7トンを投棄
- ▽ホスト遊び?保育園
- 園長夫妻が補助金流用
- 9.55 やまぐちし専科
- 00 アサデス。九州山口
- 30 健やかタイム◇ほっと
- 45 2月定例山口県議会
- 「代表質問」
- 小泉利治(公明)
- 11.40 ちやんちやんち◇45分
- 00 徹子 筋肉に大興奮!
- 急増の「ア女子」とは
- 30 スクラムフル 川から
- せめる…誰も知らない
- 江戸マどうなる!?米国の
- 運命◇1.45分上沼
- 00
- 03 グルメ弁護士VSダイエ
- ット換事・被告席から
- 真犯人を指差す女/園
- 森公美子 柴田理恵
- 3.55 はぐれ刑事純情派
- 「妊娠3か月の投身自
- 殺?神田川を喰う女」
- 4.50 Jチャンネル 大統領選

KRY4
山口放送
☎0834-32-3038

- 4.00 Oh a 4 ◇さわやか
- 6.30 ZIP! 被害は?
- 北海道に猛吹雪の脅威
- ▽トランプ氏どんな人
- ▽岡田准一の新人時代
- 00 スッキリ!! 15歳少年
- 「かき糞」でパトカー
- 襲撃▽ゴミ7トン投棄
- か…74歳女に住民怒り
- 9.30 2月定例山口県議会
- 「代表質問」
- 小泉利治(公明)
- 10.25 お買物情報
- 55 お買物情報
- 11.25 防府市政◇30分
- 45 慶弔干し大根のうす味煮
- 55 ヒルナンデス 超絶品
- 北陸カニ&ブリしゃぶ
- ホテルビュッフェ水ト
- VSりゅうちゃん完食!?
- 春限定絶対費スポット
- 裏せる?魅せる下着店
- 1.55 ミヤネ屋 速報中継
- 元キンコメの高橋被告
- 初公判で制服窃盗語る
- ▽破局報道の狩野英孝
- 説明は?イベント登場
- ▽もしトランプ氏なら
- 3.50 every
- ▽体は女性で心は男性
- LGBT就活生の苦悩
- 4.53 熱血テレビ 温泉と

TYS3
テレビ山口
☎083-923-6112

- 4.30 買物◇5.00はやドキ!
- 5.30 あさチャン! N3
- 認知症男性の列車事故
- 家族に賠償責任はナン
- ▽清原容疑者これから
- 00 白熱ライブ・ピピット
- 独占?ご近所トラブル
- 廃虚同然の家女性家主
- ▽家族側が逆転勝訴!
- 認知症でJR列車事故
- 9.55 2月定例山口県議会
- 「代表質問」
- 小泉利治(公明)
- 10.50 ガチャン◇54分
- 00 ひろおび! N3
- 認知症事故で最高裁が
- 家族に賠償なしの判決
- 介護経験女優語る現実
- ▽大統領予備選山場に
- 米国人タレントが激論
- 躍進トランプ氏の功罪
- 1.52 雪月花TV
- 55 女はそれを許さない
- 最後の対決!子を
- 失った親達の救いは
- 2.50 リスクの神様 危機
- こそチャンス…父と子
- が選んだ決断◇3.48
- 3.53 Nスタ 堀尾正明が
- 旬の情報をよりワイド
- にお届け!◇4.53番組
- 4.56 水戸黄門

TNC 福岡8
テレビ西日本
☎092-852-5555

- 4.30 買物◇5.00 目めざ
- 5.25 目めざましテレビ
- ヒラリーかトランプか
- 白熱米大統領指名争い
- 変わる就活最前線2016
- 00 とくダネ! ①絶好調
- トランプ氏「暴言王」
- 生中継…決戦の結果は
- ②君島十和子さん長女
- 卒業…宝塚の芸名は?
- 9.50 ももち浜ストア
- 週末限定寿司バトル!
- おかず市場を食べ歩き
- 老舗「三代目」グルメ
- 絶品の一品▽生歌披露
- 11.15 いい◇25散歩◇30分
- 55 バイクキング 加藤浩次
- 怒りの再出演!坂上と
- 話題ニュースで生激論
- 0.55 藤本&ビビる大木の嫁
- 1.25 嵐の誤入 人違い!?
- 55 直撃LIVEグッディ
- 速報!元キンコメ裁判
- 制服大量盗んだ動機は
- 2.55 おかしな二人伊豆天
- 城越えオネエ旅~女郎
- 蜘蛛伝説殺人事件~回
- 「わがままタレントと
- マネージャーが連続殺
- 人に突入! 寛利夫」
- 4.50 ももち浜ストア 方版

TVQ 福岡7
テレビ九州
☎092-262-0077

- 4.45 買物◇5.45 モーサテ
- 6.40 合格!◇45おはスタ
- デュエマ注目生ライブ
- 7.30 チャージ730!
- 24時間営業増えるワケ
- 00 韓国時代劇・王の顔
- 「宮中入り」ソ・イン
- グク(字幕スーパー)
- 00 暴れん坊将軍9「宿命
- の絆・わが子に一目違
- いたい! 松平健◇番組
- 00 水曜アラカルト
- 健康生活情報
- 30 TVショッピング
- 00 虎ノ門◇13Mプラス
- 30 剣客商売「まゆ鬼の金
- ちゃん」藤田まこと
- 渡部篤郎◇0.26ガイド
- 0.30 韓ドラ朝鮮ガンマン
- 「見果てぬ夢」
- イ・ジユンキ(字幕)
- 1.25 さすらいの警長風間昭平
- のつがる弘前城殺人事
- 件「哀しみの銃声」回
- 9. 北大路欣也 宮本真希
- 布施博 ケーシー高峰
- 一色采子 寺田麗
- 3.25 TVショッピング
- 55 激PUSH!
- 00 L4YOU 黒バナナ
- 免疫&代謝UP健康法
- 5 Jアンサー

2016年5月17日(火) 宇部日報

上宇部校区活性化事業

モデルの山門自治会 22日に「学べるランチ」

歩道拡幅し安全確保

県道脇で100以上にわたり整備

山口・山陽 山門自治会

山口県山陽小野田市の小野田を通る県道の歩道で先ごろ、約100以上にわたって拡幅工事が行われた。推進してきた公明党の小泉利治県議と岡山明市議はこのほど、近隣住民らと現地を視察し、喜び合った「写真」。

現場は、近くにテニスコートがあり、子どもたちが多く利用するが、交通量が多い上に、途中で歩道が途切れている箇所があり、利用者などから「危ないので何とかならないか」との声が上がっていた。相談を受けた岡山市議は、小泉県議と連携し、県に改善を要望。歩道の拡幅や新設とともに、新たにガードレールも設置された。

近くに住む石川英夫さん

は「安全に歩けるようになってよかった」と話していた。



上宇部校区山門自治会(小泉利治会長)の「学べるランチ」は、22日午前11時から同自治会館で開かれる。地域住民の参加を呼び掛けている。

健康増進・食育・3世代交流を目的に、「減塩と禁煙パネル展」「健康チェックと相談会」「竹馬など昔の遊び」を実施する。無料で健康的なドリンク、減塩うどん、糖分控えめのせんべいが試飲、試食できる。自宅のみそ汁の塩分をチェックするコーナーもある。

上宇部校区は住民主体で活性化に取り組み「まちの駅」事業に取り組んでおり、「学べるランチ」は山門自治会がモデルケースとして初めて実施する。

2016年9月11日(日) 公明新聞

中国地方で広がる小水力発電

公明議員、再エネ普及へ現地を視察

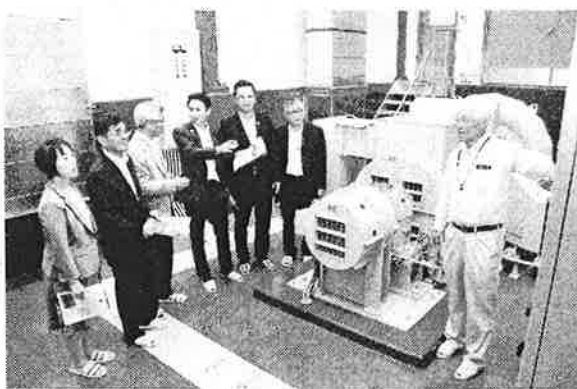
公明党の谷合正明参院議員は5日、岡山県津山市で小水力発電を行う加茂桑谷発電所を視察。笹井茂智県議、岡安謙典、原行則、広谷桂子の各市議が同行した。

「JJAつやま」が管理する同発電所は、近くを流れる倉見川から取水し、約50メートルの高低差を利用して発電。最大出力は420キロワット。

年間発電量は一般家庭約600世帯分に相当する。谷合氏は「地域の特性を生かした再エネの普及に努めていく」と語っていた。

一方、山口県宇部市では4月から小水力発電施設「宇部丸山発電所」が稼働。設置の後押しをしてきた公明党の小泉利治、石丸典子、曾田聡の各県議は先ごろ、現地を訪れた。

同施設は、宇部丸山ダムのダム湖内に設置され、ダムからの放水の際の水圧などを利用して発電する仕組み。最大出力は130キロワットで、年間一般家庭約160世帯分の電力が発電できる。小泉県議が2012年9月の定例会などで繰り返し導入を訴えていた。



稼働状況について聞く谷合氏（左から4人目）ら。岡山・津山市



担当者から話を聞く（右から）小泉、石丸、曾田の各県議。山口・宇部市

通学路の側溝を舗装し安全に

山口・宇部市

宇部市山門1丁目の市道脇の側溝を覆う舗装工事が完了したことを受け、公明党の小泉利治県議は4日、現地を訪れ地元住民と喜び合った【写真】。

現場は、地元小学校の通学路で、道幅が狭い上に、側溝にふたがなく、児童が、たびたび溝に落ちていた。上宇部校区コミュニティ推進協議会の中島勝行会長から「危ないので何とかならないか」と相談を受けた小泉県議は、市に対して対策を求めている。

中島会長は「舗装されたことで道幅も広くなり安全になった。助かった」と語っていた。



2016年12月3日（水） 公明新聞

議会最前線

宇部と韓国
仁川を結ぶ 国際定期便が就航



わが県の山口宇部空港では11月28日、韓国・仁川国際空港とを結ぶ定期便が

小泉利治・山口県議

就航しました。これは、同空港初の国際定期便で、来年3月まで月、水、土曜日の週3回往復します。これにより、県内の経済活性化や民間交流の拡大が期待さ

れています。

これまで同空港では、2013年から冬季限定で仁川までのチャーター便を運航していましたが、13年度の10往復から15年度には46往復まで増加するなど、着実に利用実績を積み重ねてきました。私は14年3月の議会などで、この問題を取

り上げ、県全体の外国人観光客増加のために国際定期便就航を図るよう繰り返し県に求めています。明後年には明治改元150年を迎えます。「維新の地」山口の魅力発信につなげられるよう、今後も観光振興に取り組んでいきます。

山口宇部の国際化 鹿児島空港に学ぶ

地元県議団が現地視察



鹿児島空港の取り組みを学ぶ県議団
(鹿児島県庁で、提供)

山口宇部空港の国際化を求める宇部市、山陽小野田市選挙区選出の県議団はこのほど、鹿児島県を訪れ、鹿児島空港の利用状況や国際化について視察した。

議員団は古里活性化を共通の願いとし、2012年1月に超党・会派で結成。当時の二井関成知事宛てに国際定期便の早

期実現を書面で要望した。県議会でも韓国、中国、台湾などへの就航を強く求めており、調査や先進地視察など、精力的に活動している。視察は結成時に石川県

の小松空港を訪れて以来3年ぶりで、代表世話人の小泉利治、二木健治、岡村精二、江本郁夫の4議員が参加した。鹿児島県庁では、担当者から航空政策の概要を聞いた。鹿児島空港は国際化を促進し、ソウル、上海、台北、香港便など計週12便を運航するなど、観光、ビジネスの拠点機能を担っている。また、国際化促進協議会を設立し、国際定期便等を利用して研修・視察や国際交流のために渡航する6人以上の団体・グループに対して渡航経費の一部を助成する事業や海外ビジネスツアー助成事業など、さまざまな利用促進制度を設けるなど、国際定期路線の拡充・新規路線の誘致活動に取り組んでいるという。小泉代表世話人は「こ

れまでのチャーター便の実績を踏まえ、国際定期便の就航を図りたいとの議会発弁をいただいている。予算的なものを含めて厳しい状況であるが、古里の活性化は共通の願いであり、今後も調査や先進地視察を行いたい」と語った。(古重)

2月県議会論戦スタート

県議会2月定例会は20日代表質問が行われ、宇部市選挙区選出の小泉利治議員(公明)と岡村精二議員(自民新生会)が、地方創生に関する産業振興や子育て支援など、県の取り組みについて問った。

議員 移住推進し地域活力 母子家庭自立計画改定へ



小泉議員は地方創生の要は「ひと」とし、若者や女性が元気に活躍できる社会づくりにどう取り組むかが質問。村岡副知事は「若者を県内に

とどめ、呼び込んでいけるよう産業振興、魅力ある雇用の場を創出し、地域を支える人材の移住を推進して地域活力の創出につなげたい。女性、若者が能力を發揮できる創業支援の強化など、安心して生活できる社会をつくる」と答えた。貧困によって満足な教育を受けられずに、希望する進学や就職の機会が失われる貧困の連鎖を防ぐために、一人親家庭に対する支援策を問われた村岡知事は「現行の母子家庭等自立促進計画を年度末を目途に改定する。就業による自立促進や経済的支援の充実、安心な子育て環境の整備などによって、子供たちが夢、希望を持って成長できるよう、一人親家庭の生活の安定、向上に努める」とした。屋外の喫煙場所を出入



り口から離して設置する。その他は4割にとどまらず10割の実績についており、多くの人が利用して、村岡知事は「基準を高めるための施設設置者に働き掛けているのは学校や掛けている」と述べ、県・市町の施設で約7割、た。

公明 各地で予算要望

大阪市議会公明党

大阪市議会公明党(明石直樹幹事長)はこのほど、市役所内で吉村洋文市長に会い、2016年度の予算編成に関する要望書を手渡した【写真】。



席上、明石幹事長は「改

革と成長により、市民サービスを拡充するための財源を生み出すことが必要」と

強調。さらに「大阪市が関西・西日本のリーディング都市として発展できる施策と、経済発展への戦略的な投資をし、中小企業などの活性化につなげていくべきだ」と要請した。

要望書に盛り込んだのは「大阪の成長戦略に向けた10の提案」のほか、六つの柱からなる最重要要望57項目と、6分野307項目。

成長戦略では、①観光振興に向けた広域鉄道ネットワークの構築②Wi-Fi(ワイファイ)エリアの拡大③トップセールスによる成長産業の誘致と中小企業支援④女性のキャリアアップ支援——などを主張している。

最重要要望では、①特別養護老人ホーム待機者の早

期解消②認知症対策③住宅の耐震診断、改修費の補助制度の活用④子どもの医療費助成の対象を18歳までに拡充——などを求めた。

吉村市長は「経済成長を進める目的は市民福祉の向上。福祉に重点を置く公明党の提言を尊重して予算編成を進めていく」と述べ、さらに「観光振興や中小企業の活性化へ(提案のあった)トップセールスをしっかりとやっていきたい」と応じた。

党山口県議団

公明党山口県議団(小泉利治団長)は7日、県庁内で村岡副知事に対して、2016年度予算編成に関する要望を行った【写真】。

席上、小泉団長らは①防災・減災対策の充実、強化②働きながら子育てしやすい環境の整備など、子育て支援のさらなる推進③年間延べ宿泊者数500万人をめざした観光力の強化④介護人材の確保・定着・育成



⑤特別支援教育の充実や小・中学校への補助教員配置の拡充——など7分野89項目を要望した。

村岡知事は「しっかりと検討していきたい」と答えた。

党岡山市議団

公明党岡山市議団(則武宣弘団長)はこのほど、市役所で大森雅夫市長と会い、2016年度予算編成に関する要望書を手渡した【写真】。

則武団長らは「市民が主

役のまちづくり実現を」と強調し、1-11項目を要望。このうち、党市議団が14年に発表した政策提言書「岡山市民未来創生プラン」に基づき、①「西川緑道公園」の整備などJR岡山駅を起点とした中心市街地の活性化②市立幼稚園における「3歳児教育」の拡充③公共施設の複合化・多機能化と「市民協働支援システム」の構築——などを求めた。



県議会一般質問

県議会2月定例会は7日、一般質問初日が行われ、宇部市選挙区選出の小泉利治議員(公明)が宇部港港湾計画の見直しなど、岡村精二議員(自民新生会)が西日本衛星防災利用研究センター開設に伴う新産業創出や雇用拡大などについてたずねた。(浅野)

宇部港湾計画見直しへ

受動喫煙リスクを周知徹底

小泉議員

小泉議員は石炭の年間輸入(移入)量620万ト、移出量360万トと国内トップクラスの宇部港を取り上げた。今後、大型石炭火力発電所が稼働すれば輸入量だけで年間1000万トになると想定されることから、輸送船大型化に対応した港湾整備のために港湾計画見直しの必要性を指摘。

前田陽一土木建築部長は港湾計画は10年から15年先を視野に入れたものと前置きし「周辺企業にヒアリングしたが今後、石炭扱い量の増加が見込まれる。加えて南海トラフ地震時の救援物資の積みや輸送拠点、あるいは親水空間としての役割も期待されている。新年度に地域住民にアンケート

調査を行い、計画見直しの検討を深めていきたい」と答弁した。住生活基本計画に基づく県営住宅の供給目標量見直しについて、村岡嗣政知事は「人口は減少していくが高齢者や一人親世帯など公的支援が必要なのが、増えることが見込まれ2025年度までは県営住宅供給量は現行を維持するが、その後は抑

離島の生活向上へ全力

党山口県本部 住民から要望聞く

公明党山口県本部の秋支部(佐々木武夫支部長)は3月29日、同市の離島・見島で「秋市・見島離島相談会」を行った。これには、同県本部の小泉利治県議のほか、佐々木支部長、佐々木公恵・秋市議が同



島民から要望を受ける小泉県議ら(山口・秋市)

設置してほしい」などの声が寄せられた。小泉県議は、「見島は国の有人国境離島に指定されている重要な地域だ。今後、国や市と連携し、島民の生活向上に全力を挙げていきたい」と語った。

宇部港しゅんせつ確実に推進 屋外喫煙所の10ルールを徹底へ

小泉議員

県議会6月定例会は26日、代表質問が行われ、宇部市選挙区選出の小泉利治議員(公明)が、国際競争力強化に向けた港湾整備、受動喫煙対策などについて話した。

県議会代表質問



小泉議員は、石炭輸入

量は徳山下松港が全国4位、宇部港が11位で、国際バルク戦略港湾のくくりで両港を合計すると全国第1位、シェア約7%を占有。輸入炭を国内各

港に二次輸送するなど、西日本一帯における石炭供給拠点として機能している実態を強調し「石炭需要は増大が予想され、港湾整備の推進は必要だが、県の取り組みは」と質問した。

村岡嗣政知事は「瀬戸内海側の産業は大きな雇用を生むなど県経済の屋台骨となっており、その再生強化は必要。両バルク港についても大型船舶

による2港揚げという共同輸送が新興国とのコスト競争でも優位にある。国内最大級のコールセクターを持つ宇部港においては、水深13メートルの航路泊地のしゅんせつを確実に進めていきたい」と答えた。

受動喫煙に関して小泉議員は、政府が受動喫煙防止対策を強化する健康増進法改正案を先の通常国会で見送ったのを残念とし、県が率先して防止対策の条例を制定するよう求めた。

村岡知事は「健康寿命の延伸は大事。県では食生活や運動など健康づくりの各分野で主体的な取り組みを行う事業所・団体等を登録するやまぐち健康応援団制度を創設し、現在約2600団体が登録。今後、飲食業を中心に登録を促し、受動喫煙対策の一環とした。さまざまな研修会、イベントで対策の必要性を訴え、屋外に喫煙場所を設置する場合は、出入口からおおむね10メートル以上離すルールも徹底したい」とした。

農業の担い手対策については「県の昨年度の新規就農者は121人だった」と取り組みの成果を紹介した。(浅野)

現場の視点で多彩な提言

現場の視点で多彩な提言を展開する公明党議員。各地の定例会での質疑を紹介する。

犯罪被害者支援で主張

千葉県議会で藤井議員



藤井議員

藤井弘之議員は、犯罪被害者支援について質問した。2004年に県が制定した「県安全で安心なまちづくりの促進に関する条例」では、犯罪被害者支援についての条項が、わずか一条項しかないことを指摘。さらに、被害者が受ける二次被害や再被害の問題には触れられていないとした上で、「制定から13年が経過していることを踏まえ、犯罪被害

例の見直しが必要ではないか」と訴えた。森田健作知事は、犯罪被害者を取り巻く状況について「被害者の立場をより重視する方向へ変化している」と述べた上で、条例の見直しの必要性について検討する意向を示した。

例の見直しが必要ではないか」と訴えた。森田健作知事は、犯罪被害者を取り巻く状況について「被害者の立場をより重視する方向へ変化している」と述べた上で、条例の見直しの必要性について検討する意向を示した。

病が悪化して人工透析に至った患者のうち、1万人以上が下肢切断を余儀なくされていることを紹介。一方、早期発見が重要な足病の相談があった場合、県内の医療関係者は「大阪の病院をいく」と応じた。

紹介している」という実情を指摘し、「奈良県立医科大学附属病院でも診療が受けられることを広く周知するべきだ」と訴えた。県側は「県立医大における受付窓口や治療内容を記載したパンフレットを作成し、7月下旬から糖尿病治療や人工透析を行っている早期発見が重要な足病の相談があった場合、県内の医療関係者は「大阪の病院をいく」と応じた。

足病対策の充実求める

奈良県議会で大国議員



大国議員

大国正博議員は、糖尿病患者の足病について、高血糖状態が抵抗力が落ちてい

小泉利治議員は、受動喫煙の防止対策について質問した。政府が先の国会で、受動喫煙防止対策を強化す

山口県議会で小泉議員

受動喫煙防止対策進めよ

健康増進法改正案の提出を見送ったことに触れ、「2020年の東京オリンピック」

高齢者の空き家の活用訴え

愛媛県議会で中議員



小泉議員

中政勝議員は、高齢者や障がい者、低所得者などの住宅確保策について質問した。高齢者などの民間賃貸住宅への入居は、家賃支払

洪水想定区域の公表時期ただす

岡山県議会で笹井議員



笹井議員

規模の降雨による「洪水浸水想定区域図」が公表されたことを受けて、県が管理する20河川で進めている洪水浸水想定区域の見直し状況と公表時期をただした。

笹井茂智議員は、河川の洪水対策に関して質問した。国が管理する1級河川について、想定できる最大

ら取り組んでおり、20年度までに順次公表する予定」との方針を明らかにした。また、笹井議員が各河川に88カ所ある水位観測所の増設計画の公表を訴えたのに対して、伊原木知事は「河川の重要性や河川管理上の必要性、設置密度などを踏まえて、16年度に候補箇所を選定した。現地確認を行った上で17年度中に公表していきたい」と答弁した。

中政勝議員は、高齢者や障がい者、低所得者などの住宅確保策について質問した。高齢者などの民間賃貸住宅への入居は、家賃支払に対する家主の不安から断られるケースが多い上、公営住宅は応募倍率が高いため、住宅を確保するのが難しい現状を指摘。「今年

これに対し、中村時広知事は「空き家を活用した住宅政策は大変有効である」とし、高齢者などが入居できる空き家の登録準備を進める考えを示した。

地方議会から定例会

県民向けに健康アプリ

歩数記録、来年4月配信

県議会は26日、一般質問があり、笠本俊也(自民党)、小泉利治(公明党)、秋野哲範(国民・連合の会)、中嶋光雄(社民党・市民連合)の4氏が中山間地域づくりや県民の健康づくり、あらゆるモノをインターネットにつなぐIoTの導入促進、建設産業の人材不足などを取り上げた。村岡副政知事は健康づくりを進めるため、スマートフォン向けのアプリを開発することを示した。小泉氏の質問に答えた。

県議会一般質問



小泉利治氏

小泉氏は超高齢社会の中、寝たきりや認知症を予防するためには「運動と食事によって健康を維持、増進する必要がある」として、医療や介護に依存せずに生活する健康寿命を伸ばす取り組みを聞いた。

村岡知事は歩数を記録するなどして個人の生活習慣を「見える化」するアプリを開発し、県民の健康づくりを促進する考えを説明した。

県健康増進課によると、県が進めるのはスマホの機能にある歩数計と運動し、歩数を記録するアプリ。景品と交換できるポイントや各市町でのランキングなど、ゲーム的な要素を設けることで、利用者が楽しみながら継続的に健康づくりに取り組み環境をつくる。

「働き世代」を主なターゲットとし、2019年4月

に配信を始める。

村岡知事はストレッチやウォーキングの方法を紹介する動画を県のホームページに公開するなど、情報発信の充実にも努めることも示した。

同課によると、15年度の県民の特定健診の受診率は

全国都道府県で45位と低く、健康に関心を持ってもらうことで受診率の向上も目指す。村岡知事は「県民誰もが健康で生き生きと生活できるよう、健康寿命の延伸に向け県民総参加の健康づくりを積極的に取り組む」と述べた。

2018年10月3日(水) 宇部日報

受動喫煙の防止推進へ 県議会全会派で条例案提出

県議会の全会派議員でつくる「受動喫煙の防止の推進に関する条例(仮称)」に関する政策立案等検討会(会長・榎本利



条例提案の申し出を行う榎本会長(県庁で)

光議員、11人)は1日、柳居俊孝議長に、9月定例会の最終日に受動喫煙防止の取組の推進に関する条例案を提案する申し出を行った。

榎本会長と小泉利治副会長から申し出を受けた

柳居議長は「大変喜ばれる取組かと思う。今議会の議題に入れさせていた」と承諾。榎本会長は「これを機会に、県民に受動喫煙についての認識を深めてもらえればありがたい」と語った。

検討会は今年3月に立ち上げ、9月まで6回の協議を重ねてきた。

可決されれば、16日の県報掲載をもって公布・施行される。県議会棟では施行に先駆け、先月から食堂を除いて建物内を禁煙化。食堂も15日から禁煙される予定。(重岡)

通学路をきれいに

山門自治会関係者らが作業

つづつとした通学路をきれいにしようと、上宇部の山門自治会（小泉利治会長）や見守り隊、市関係者らがこのほど、山門5丁目の公道約100mで伐採と草刈り作業をした。

この日は同自治会、見守り隊、上宇部小、地域・福祉支援チーム、市



通学路を整備する参加者（山門5丁目の赤松池そばで）

教育委員会の5者が連携。7人が草刈り機やチェーンソーなどを手に約1時間作業し、赤松池沿いの道と、のり面を明るくした。

小泉会長は「これで子どもたちの安全を確保できれば、うれしい。今後、も作業を継続していきたい」と話していた。（松原）

来社

▽小泉利治さん（上宇部区山門自治会会長）
▽長谷知さん（同副会長）
22日に山門自治会館で開く「学べる」チン山門（あいさつ）。

熊本地震 義援金

- 1万円。
 - △東岐波の匿名女性
- 1万円。
 - △山門自治会
- 3万円。
 - △厚郷土五研究会
 - 5万1700円。
 - △大永商事（鹿能町3丁目）30万円。
 - △大永商事青水会 10万円。
 - △司馬牛さん（恵田町5丁目）1万円。
 - △ツル井満洲子さん（恵田町5丁目）1万円。
 - △ダイサンプロパン（川上）10万円。
 - △三浦勇登さん 2万円。
 - △宇部交通通商協賛会 5万円。
 - △善和カイロプラクティック 1万円。
- 3万円。
 - △常盤校区区民大運動会参加者有志 1万円。
 - △サンエネルギー（朝日町）30万円。
 - △サンエネルギー従業員 1同 3万7000円。
 - △厚南中生徒会（橋口大夢会長）朝のあいさつ運動に合わせて募金活動を実施。7万5000円。

受動喫煙防止の推進を

自、公の県議が条例検討申し出

自民党県連と公明党県本部の県議が13日、柳居俊孝県議会議長に対し、「受動喫煙の防止の推進に関する条例（仮称）」の制定を検討するよう申し出書を提出した。9月

議会をめぐりにしている。提案者は、自民党の島田教明議員、平岡義賢議員、篠崎圭二議員、公明党の小泉利治議員、石丸典子議員の5人。島田議員と小泉議員が県庁の議長室を訪れて、柳居議長に申し出書を手渡した。

制定の目的は、県民の機運醸成などにより、防止対策の実効性確保につなげる。条例では、県や県民の果たすべき責任



柳居議長（中央）に申し出書を手渡す小泉議員（右）と島田議員（議長室で）

と役割を明らかにし、受動喫煙防止に向けた県民の取り組みを推進する基本的事項を定める。（託問）

農水産業の未来を開く

山口・谷合副大臣が先進的企業を訪問



意見を交わす（右から）柳居社長と谷合、小泉の両氏



農業の展望を語り合う（左から）近安社長と谷合、小泉の両氏

谷合正明農林水産副大臣、公明党の山口孝部市食品加工機械製造で有名な株式会社ナギヤ（柳居秀雄社長）は、原料作は、最終製品となるカニカマは「本物以上」と評判高い。

柳居社長は「カニカマが世界的ヒット商品は、製造装置の海外輸出が増加。今、世界で引き続き、谷合副大臣は「17年の農林水産物輸出額は約8000億円。1兆円をめざして、食糧機械メーカー力を合わせていきたい」と語っていた。

視察後、谷合副大臣は「70%のシェアを占めていると、機械製造。70年代、カニ風味蒲鉾、カニカマが高まったことを受け、製造装置を開発。最終製品となるカニカマは「本物以上」と評判高い。

柳居社長は「カニカマが世界的ヒット商品は、製造装置の海外輸出が増加。今、世界で引き続き、谷合副大臣は「17年の農林水産物輸出額は約8000億円。1兆円をめざして、食糧機械メーカー力を合わせていきたい」と語っていた。

視察後、谷合副大臣は「70%のシェアを占めていると、機械製造。70年代、カニ風味蒲鉾、カニカマが高まったことを受け、製造装置を開発。最終製品となるカニカマは「本物以上」と評判高い。

柳居社長は「カニカマが世界的ヒット商品は、製造装置の海外輸出が増加。今、世界で引き続き、谷合副大臣は「17年の農林水産物輸出額は約8000億円。1兆円をめざして、食糧機械メーカー力を合わせていきたい」と語っていた。

地元県議 新年あいさつ

未来への展望切り拓く



小泉 利治

皆さん新年おめでとうございます。本年も皆さんやご家族にとりまして、幸多い年となりますよう心から願っております。

早いもので、県議に初当選以来、県民の皆さまとの対話を重ね、共に歩み、19ある人口減少は、深刻の度を申し上げます。

さき、県政最大の課題である人口減少は、深刻の度を求められています。

来への確かな展望を切り拓いていくことが、今まさに求められています。

今回の新年を元気で迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援のたまものと心より感謝申し上げます。

また、昨年は突然の選挙となった第48回衆議院議員選挙は自公圧勝で弊を閉じました。公明党の訴えに理解を示し、支持を寄せてくださった皆さま方に深く感謝を申し上げます。

この流れを断ち切らないと、地域の活力を低下させ、財政面にもたいへん大きな影響が出てきます。

近い将来、既に140万人を割り込んでいます。また、近年の人口の転出が著しく、毎年10000人が近隣の人が転出して、この流れを断ち切らないと、地域の活力を低下させ、財政面にもたいへん大きな影響が出てきます。

この流れを断ち切らないと、地域の活力を低下させ、財政面にもたいへん大きな影響が出てきます。

この流れを断ち切らないと、地域の活力を低下させ、財政面にもたいへん大きな影響が出てきます。

今年、明治改元から50年という節目の年を迎えますが、この機を捉えて、私は、さまざまな困難を乗り越えて挑戦を重ねてこられた、先人たちの「志」と「行動力」を学び、この苦境に立ち向かう糧とする必要があると考えています。

今年、明治改元から50年という節目の年を迎えますが、この機を捉えて、私は、さまざまな困難を乗り越えて挑戦を重ねてこられた、先人たちの「志」と「行動力」を学び、この苦境に立ち向かう糧とする必要があると考えています。

今年、明治改元から50年という節目の年を迎えますが、この機を捉えて、私は、さまざまな困難を乗り越えて挑戦を重ねてこられた、先人たちの「志」と「行動力」を学び、この苦境に立ち向かう糧とする必要があると考えています。



小学校そばの国道に見守る防護柵
山口・宇部市
宇部市の市立琴芝小学校(藤川信利校長)東側を走る国道490号の歩道にこのほど、防護柵が設置された【写真】。

中国地方整備局、県土木事務所に改善を要請。これを受け今回、防護柵が約200本にわたって設置された。



ガードレールがあったが、先ごろ完了した国道の拡幅工事の際、歩道に十分な幅が確保されたと、撤去されたままだった。しかし現場では、速度を上げた車が多く走行しており、児童らの安全を危ぶむ声が多数寄せられていた。

状況を聞いた公明党の小泉利治県議は、安全対策を求めている学校、地元自治会連合会(井上博司会長)などと連携し、国土交通省

STOP受動喫煙新聞

地方議員による受動喫煙撲滅への取り組み

「STOP受動喫煙新聞」の発行者である、山口県議会の小島勲議員より、「記事の参考に」と、議会の受動喫煙に関する自身の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会 質疑応答

平成25(2013)年2月 定例会(第一回) 小島議員

受動喫煙防止に向け、喫煙者による受動喫煙撲滅に活用したステッカー(ちよるる)の取組が、山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。



禁煙・分煙表示ステッカー(ちよるる)の取組が、山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

「STOP受動喫煙新聞」の発行者である、山口県議会の小島勲議員より、「記事の参考に」と、議会の受動喫煙に関する自身の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

緊急警告!! 加熱式タバコに関する注意喚起。ニコチン、タール、有害物質の含有率に関する表。

Table with 3 columns: 加熱式タバコ (加熱式タバコ), 普通のタバコ (普通のタバコ), 比率 (%). Rows include Nicotine, Tar, and Harmful substances.

NO! 受動喫煙. 静岡県浜松市が実施している「受動喫煙防止啓発ステッカー」の取組に関する情報。

山口県議会議員の小島勲氏より、山口県議会の質問と答弁をまとめた新聞録(3年17年6月)が送られました。その一部を、編集し紹介いたします。

小松空港の取り組み学ぶ 国際化にらみ宇部の県議団



空港の利用状況を聞く県議団(石川県庁で、提供)

山口宇部空港の国際化を求める宇部市選挙区選出の県議団(小泉利治代表世話人、6人)が、22、23の2日間、石川県を訪れ、小松空港の利用状況などを視察した。

古里活性化を共通の活動について聞いた。国際線は搭乗率も採算ベースを上回っておらず、官民挙げて海外から日本へ来る観光客を

今回の視察には小泉代表世話人(公明)ら4人とオプザーバー1人の5人が参加。石川県庁では航空自衛隊との共用空港として開港50年を迎え、国内便6路線はもろろん、ソウル

延ばす取組みを充実させているという。2日目は小泉代表世話人と二木健治議員(自民)が同空港などを訪れた。県議団では「国際戦略を練らなければならぬ。今後は県内企業や旅行代理店、商工会議所などを回り、需要調査をしたい」と語った。

山口宇部の国際化 鹿児島空港に学ぶ

地元県議団が現地視察



鹿児島空港の取り組みを学ぶ県議団(鹿児島県庁で、提供)

山口宇部空港の国際化を実現を当面で要望し、2012年1月に超党派・会派で結成。当時の二井関成知事宛てに国際定期便の早

の小松空港を訪れて以来3年ぶりで、代表世話人の小泉利治、二木健治、岡村精二、江本郁夫の4議員が参加した。鹿児島県庁では、担当者から航空政策の概要を聞いた。鹿児島空港は国際化を促進し、ソウル、上海、台北、香港便など計週12便を運航するなど、観光、ビジネスの拠点機能を担っている。また、国際化促進協議会を設立し、国際定期便等を利用して研修・視察や国際交流のために渡航する6人以上の団体・グループに対して渡航経費の一部を助成する事業や海外ビジネスツアー助成事業など、さまざまな利用促進制度を設けるなど、国際定期路線の拡充・新規路線の誘致活動に取り組んでいるという。小泉代表世話人は、「こ

県、市町連携し促進

企業の本社機能移転 目標件数も定め

県議会は29日、一般質問があり、国井益雄（自民党）、小泉利治（公明党）、西嶋裕作（民主・連合の会）、木佐木大助（共産党）の4氏が企業の本社機能移転や健康増進、地方創生の取り組みなどを取り上げた。阿野徹生商工労働部長は、地域再生法に基づき、本社機能移転を促す取り組みや目標件数などを定めた県地域再生計画を市町と連携して制定し、県内全域を対象に本社機能移転を計画的に進める考えを示した。国井氏への答弁で明らかにした。



国井 益雄

国井氏は人口減少を抑制するには生産年齢人口の確保が必要として、企業の本社機能の地方移転を促す取り組みについて聞いた。

阿野部長は、「事務職など若者の多様な雇用を創出し、地域経済への波及効果もあり、積極的に促進しなければならぬ」と本社機能の移転を進める意義を強調。県東部企業本部を中心に、首脳層の企業の中でも、山口県を発祥とする企業や県内に主力工場を置く企業を重点的に訪問し、市町と連携して移転を働きかけていることを説明した。

会 議 質 問 県 一 般 質 問

活用するとともに、地方移転に伴い社員の家族の移動も期待されることから、市町と連携して住環境や教育面でのサポートを含めたきめ細かな支援に取り組みました。県企業立地推進課による



小泉 利治

健康マイレージ開始

始めることを説明。今後、実施市町や協力店を拡大し、制度の充実を図る考えを示した。県民の食塩摂取量が国の目標量を上回っていること

小泉氏は、県民の健康寿命を伸ばす取り組みを取り上げた。



西嶋 裕作

新型交付金は継続を

西嶋氏は、地方創生の取り組みについて、地域の特性に合った施策が必要と指摘し、国の交付金のあり方や国からメニューが示される方式について知事の見解をたじた。

村岡知事は、「地域特性

基本姿勢整理し説明

岩国艦載機移駐で県が基地議連に

県議会の「岩国基地問題に関する議員連盟」（基地議連）は20日、役員会を開いた。県は、米軍再編に対する従来の基本姿勢について、2017年に予定されている厚木基地から岩国基地への空母艦載機の移駐そのものの容認と移駐時期の容認の2段階に分けて整理して示した。

役員会には畑原基成会長「夜間離着陸訓練（NLP）や柳屋俊学顧問ら役員10人の実施は容認できない」が出席。大谷巨雄総務部長「地元の意向を尊重する」という移駐そのものの容認を強化は容認できない」と関わる三つの基本姿勢を示し、地元岩国市、和木町、周防大島町が容認していないことから県としても移駐を容認していないことをあらためて説明した。

米軍再編に対する県の基本スタンスがあらためて示された県議会岩国基地議連の役員会＝20日、県議会棟



その上で、従来から示している「これ以上の負担増は認められない」「普天間移設の見通しが立たない」うち、空母艦載機の移駐のみを切り離して進めることは認められないの二つの基本スタンスは、移駐を容認した次の段階で判断するものだと説明した。

特に、沖縄県と国の対立で影響が懸念されている普天間移設の見通しについて、「空母艦載機の移駐そのものを容認する結論に至り、その上で艦載機の移駐そのものを容認する結論に至り、その上で国から具体的な移駐時期が示された時点で判断することになる」とした。知原会長は「関係市町と連携して意見を聞きながら、政府との交渉役もなければならぬ。議連で一致団結して意見をまとめ、前へ進めたい」と述べた。

孤食や食生活改善へ

困窮する子どもに食事支援

山口・宇部市

生活に困窮する子どもたちにも食事を提供する「子ども食堂」が全国各地で広がる中、山口県でも昨年10月、県内初となる「ゆうやけ子ども食堂」が宇部市にオープンした。公明党県議団(小泉利治団長)の小泉団長、石丸典子、曾田聡の各議員は先ごろ、食堂を訪れて話を聞いた。



生活に困窮する子どもたちにも食事を提供する「子ども食堂」が全国各地で広がる中、山口県でも昨年10月、県内初となる「ゆうやけ子ども食堂」が宇部市にオープンした。公明党県議団(小泉利治団長)の小泉団長、石丸典子、曾田聡の各議員は先ごろ、食堂を訪れて話を聞いた。

必要で、料金は子どもも300円、大人500円。両親などが子どもと一緒に来店できない場合は、地域の民生委員などがボランティアで送り迎えなどを行っている。多いときには、1日で10人程度が利用するという。

同食堂を運営する有限会社「チエスト」の西村まゆみ社長は「子ども食堂」について話を聞く(左から)曾田、石丸、小泉の各議員

「1人で食事をする『孤食』の防止や食生活改善のために、少しでも力になれば」と語っていた。食堂の開始に当たっては、同社の今本慶治専務が

ら相談を受けた小泉団長が、開設に尽力した。小泉団長は「子どもの貧困などの解決に向けて、今後、議会などで取り上げていきたい」と話している。

2016年2月27日(土) 宇部日報

代表質問に地元2議員

県議会、29日から論戦



2016年2月

山口県議会

代表質問

29日から論戦

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

代表質問

県議会2月定例会は29日に代表質問、3月2日から一般質問が行われる。地元関係は、岡村精二議員(自民新社会)と小泉利治議員(公明)が代表質問するなど6人が登壇する。(岩本)

【29日】小泉利治議員(公明)▽地方創生▽中小企業対策▽一億総活躍社会▽第10次県交通安全計画▽健康づくりのための「たばこ対策」▽岡村精二議員(自民新社会)▽地方創生▽防災対策▽健康

【3月3日】佐々木明美議員(社民・市民連合)▽知事の政治姿勢▽新年度予算▽福祉問題(介護、カラーユニバーサルデザイン)の導入▽教育問題(雇用ルールの学習、検定中の教科書閲覧問題)

【4日】中嶋光雄議員(社民・市民連合)▽地方創生▽子どもの貧困対策の具体化▽学生等の投票参加▽上関原発に係る公有水面埋め立て

【7日】江本郁夫議員(自民)▽食の海外展開▽循環型社会への取り組み▽医療における人材の確保▽テロ対策▽篠崎圭二議員(自民)▽子育て支援のための三世同居・近居の推進▽やまぐちDMO▽本県産産を担う高度産業人材の確保▽外国人観光客に向けた県産農林水産物等の販路拡大▽地域を大切にする医療の充実▽地方創生に向けた産業教育の推進

交通事故発生状況 26日

宇部署管内	累計	増減	山口県内	累計	増減
人身事故	0件	(93件-28件)	7件	(846件-75件)	
死者	0人	(2人+1人)	0人	(8人+1人)	
負傷者	0人	(120人-31人)	8人	(1064人-85人)	

2016年3月1日(火) 山口新聞

県総合力アップが重要 知事 雇用創出、子育て支援へ

県議会は20日、代表質問があり、林哲也(自民党)、小泉利治(公明党)、岡村精(自民党)新生会、西嶋裕作(民主・連合)の各4氏が地方創生や介護人材の確保、中小企業支援、財政問題などを取り上げた。村岡副知事は、人口減少克服と地方創生の実現に向け、産業力強化による雇用の場の創出や子育て支援に重点的に取り組む考えを示し、「より高い危機意識を持ち、今なすべきことに全力で取り組まなければならない。新たな活力を引き出し、早期に目に見える成果を得られるよう、思い切った対策を積極果敢に講じたい」と決意を述べた。林氏の質問に答えた。

県議会代表質問

林氏は、県の最重要課題である人口減少を克服するため、地方創生の取り組みをどのように加速化させるのか、村岡知事の考えを聞いた。



林 哲也氏

売り込む地域商社機能の強化、新たな観光推進体制の整備などにより、若者に魅力ある雇用の場の創出を図ることを説明。少子化の流れを逆えるため、企業や民間の力を活用した社会総ぐるみの子育て支援体制の充実にも取り組むとした。

村岡知事は、1月に初め

多様な介護人材確保

小泉氏は、国が掲げる「介護離職ゼロ」を踏まえ、全国より速いペースで高齢化が進む山口県での介護人材の確保対策を取り上げた。

村岡知事は、高齢化や介護二つの増大に伴い、団塊世代が75歳以上となる2025年度に県内でも約4千人の介護人材の不足が見込まれることを挙げ、新年度事業で介護のイメージアップや多様な人材の確保、職場定着促進の充実を図るとした。

県内企業の技術力と大学の研究機能を活かした新事業展開の支援や、首都圏などに県産品を一体的に



小泉利治氏

職場体験や地域住民向けの理解促進セミナーの開催支援を引き続き実施。新たに介護現場でいきいきと働く人や仕事のやりがいを紹介するテレビ番組やCMを制作するなどして魅力をPRする考えを示した。

人材の確保を図るため、介護福祉士修学資金の貸し付け対象を、学費や入学金、備金だけでなく国家試験対策費用にも拡大。新たに、再就職に必要な転居費用などを支援する再就職準備金の貸付制度を創設するほか、ボランティア活動などに参加している中高年齢者を対象に介護の入門的な研修を実施するなど、介護人材のすそ野を広げるとした。

2016年4月26日(火) 宇部日報

5月20日から 梅下書道教室展

生徒20人が60点発表

梅下書道教室(梅下竹涯塾長)の第12回由源書道展は、5月20日から22日まで山口市阿知須のサンパークあじす2階イベントホールで開かれる。生徒20人が、漢詩や格言をはじめ、調和体などでしたためた約60点を並べる。入場無料。

時間：午前10時から午後5時(最終日は同4時まで)。
▽小川裕己さん(宇部保護区保護司会会長)▽林研次さん(同副会長)総会終了あいさつ。
▽梅下竹涯さん(梅下書道教室塾長)▽小泉利治さん(同教室顧問)▽手嶋一夫さん(第12回由源書道展事務局長)5月20日から同22日までサンパークあじすで開く同書道展あいさつ。
▽榎山芳男さん(梶返天満宮総代会会長)5月8日に開く春季例祭あいさつ。
▽濱田和子さん(宇部市介護家族の会副会長)▽山本ヤエさん(同会員)5月28日に市シルバールームあいさつで開く総会あいさつ。
▽藤本賢治さん(宇部電器商組合組合長)▽青

来社

新観光計画を策定へ

知事「多様な振興施策」年度内に

県議会は27日、一般質問があり、榎本利光（自民党）、小泉利治（公明党）、秋野哲範（民進・連合の会）、佐々木明美（社民党・市民連合）の4氏が観光振興や建設業の担い手育成、女性の活躍促進、上関原発問題を取り上げた。村岡副知事は、昨年11月に制定した「おいでませ山口観光振興条例」に基づく新たな推進計画を本年度末までに策定することを明らかにした。榎本氏の質問に答えた。



榎本利光氏

村岡知事は新たな推進計画について、本年度の観光スポーツ文化創設を契機とした多様な交流施策を盛り込み、18年の明治維新150周年を契機とした観光需要の拡大や国際観光の推進を盛り込むと述べた。また、「サイクル県やまぐち」プロジェクトなど、資源を生かした新たな観光環境や文化を創出する。山口県が国内から観光目

「ヨシ」の整合を図るため、2020年度までを計画期間とし、新たな観光推進組織「やまぐちDMO」の確立や観光産業の振興、県民が地域の魅力を再認識することによるおもてなしの実践を施策の基本方針に設定。重点的な取り組みとして、18年の明治維新150周年を契機とした観光需要の拡大や国際観光の推進を盛り込むと述べた。

村岡知事は「新たな計画の下で国や市町、観光事業者との連携を一層強化し、山口県が国内から観光目的地として選ばれるよう、全力で取り組む」と意欲を示した。



小泉利治氏

建設業担い手確保重視

小泉氏は、高齢化や後継者不足など建設業が抱える問題を取り上げ、担い手確保と人材育成の施策を聞いた。前田陽一土木建築部長は、「建設業の担い手の高齢化は本県でも深刻な状況で、

県議会一般質問

施設体系や数値目標の案などを盛り込んだ検討案を今議会の委員会に提出。観光審議会や市町の意見を聞き、年内に案を取りまとめる。パブリックコメント（意見公募）を経て年度内に策定する。

本年度は新たに、高校生が深刻な型枠工、鉄筋工を対象に産業界を通じた研修を実施して人材育成を図っているという。

県民生活の向上へ要望書

党山口県議団、女性局が知事と懇談

公明党山口県議団（小泉利治団長）は6日、県庁内で村岡副知事に対して、「2017年度予算編成に対する要望書」を提出した。これには党県本部の榎屋敬悟県代表（衆院議員）も同席し、知事と懇談を行った【写真上】。

女性局が活躍する社会の実現へ

一方、党県女性局（石丸典子局長＝県議）は同日、17年度政策要望を村岡知事に行った【写真下】。

席上、小泉団長からは、①移住・定住対策の推進 ②中山間地域の高齢者が安心して暮らせる仕組みづくり ③「明治維新150年」に向けた観光振興 ④野生鳥獣被害対策の推進と農地の有効活用 ⑤交通渋滞の緩和など、道路網の整備と交通対策の早期実現——など6分野97項目を要望した。

村岡知事は「重要な課題をたくさんいただいた。今後、しっかりと取組の充実、性犯罪被害者支援の整備——など6項目の実現を求めた。



自民党県連が 来年度予算要望

知事を訪問、51項目
自民党県連は6日、県の来年度予算編成と施策決定に対する要望を村岡副知事に提出した。超重点要望として、人口減少対策と地方創生、働き方改革と地方財政構造改革など51項目を盛り込んだ。



村岡副知事に要望書を手渡し林哲也
政調会長ら6日、県庁

柳居俊孝会長と守田宗治幹事長、林哲也政調調査会長、河村敏夫総務会長が県庁を訪問。林政調会長が村岡知事に要望書を手渡した。要望書では、長時間労働の是正や若者の就労支援による人材の還流・定着の促進など幅広い働き方改革の取り組みを提言。厳しい財政状況を踏まえ、中長期的視点に立った行政構造改革と人口減少問題など政策課題への対応の両立を求めている。

林政調会長は「厳しい財政状況にあっても人口減少など喫緊の課題にしっかりと取り組む必要がある。優先的な予算配分

へ最大限の配慮を」と述べた。村岡知事は「しっかりと受け止めて予算編成の中で対応したい」と応じた。同県連は、昨年10月の移動政調会などで県内地域支部や市町、友好団体から寄せられた要望約800項目の中から、超重点要望項目を絞り込んだ。

公明党は97項目

公明党県議団は6日、県の来年度予算に対する要望書を村岡副知事に提出した。要望は人口減少対策の推進と防災・減災対策、子育て支援の拡充、観光振興などを柱とした97項目にとめた。

県議団の5人が県庁を訪れ、小泉利治県議団長が村岡知事に要望書を提出。要望書には、県内への移住・定住を促進する取り組みや仕事と子育てを両立できる

環境整備、来年度の明治150年に向けた観光振興策の推進などを盛り込んだ。同県本部は昨年10月に政策懇談会を開き、県内の業界団体など約50団体と意見交換して要望項目をまとめた。

県の予算編成に 自民県連が要望

働き方改革推進など

自民党県連は6日、県の2017年度予算編成に向けて51項目の政策実現を求める要望書を村岡知事に提出した。

要望書では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活の調和)や非正規雇用労働者の雇用対策といった働き方改革の推進、人口減少・地方創生への取り組み

公明県議団も

公明党県議団は6日、県の2017年度予算編成に対する要望書を村岡知事に提出した。要望書では、防災通信設備の充実・強化や移住・定住対策の推進、子育て支援のさらなる推進など97項目を求めている。

2017年2月12日(日) 公明新聞

県道の中央線を引き直し

山口・長門市

長門市真木を通る県道の中央線が先ごろ、約150センチにわたって引き直された。推進してきた公明党の先野正宏市議は4日、地域住民らと現地を確認した【写真】。

現場は交通量の多い道路で、中央線が薄くなっていた。そのため、雨や雪が降ると、中央線の位置が見えにくくなり、道路の利用者から「危ないのだから何とかしてほしい」との声が上がっていた。相談を受けた先野市議は、公明党の小泉利治県議や地元県議と連携し、県に対し改善を要望していた。

近くに住む末益康枝さんは「安全になったので良かった」と語っていた。



次期衆院選の必勝誓う

公明党宇部支部が新春の集い

あいさつする榎屋党県本部代表(国際ホテル宇部で)



公明党宇部支部(安藤巧支部長)の新春の集いは10日、国際ホテル宇部で開かれた。党員や支援者、来賓200人が出席。年内の可能性もある次期衆院選の必勝を誓った。山口那津男代表はビデオメッセージで「昨年の参院選は、14議席という過去最高の成績で大勝利を収めることができた。今夏の都議選は国政の動向を左右する重要な選挙。必ず勝ち抜き、皆さんの期待に応えたい」と支援を呼び掛けた。

県本部代表の榎屋敬悟衆院議員は与党としての自覚と責任を述べ、「大衆とともに、手触りの実感を大事にして働かせていただきたい」とあいさつ。幹事長代行の斉藤鉄夫衆院議員、参院国会対策委員長長の谷合正明参院議員も決意を語った。来賓を代表し、河村建夫衆院議員と江島潔参院議員が「安倍政権の安定は世界も認める。自公連立で、日本のこれからのために力を尽くそう」と述べた。重枝尚治市議会議長は音頭で乾杯し、和やかに歓談した。閉会の謝辞では、小泉利治県議が「国会、県会、市会のネットワークを生

かし、市民、県民の声を反映させたい」と改めて決意を述べた。(岩本)

荒れた通学路 舗装し安全に

山口・宇部市

山口県宇部市の市立上宇部小学校の通学路がこのほど整備された【写真】。



現場は、同市上宇部地域の住宅地、農地内に巡らされた生活道路。登校時間は大勢の子どもたちが通る道だが、路面のアスファルトが劣化し、崩れているところもあつたという。地元のコミュニティ推進協議会の中島勝行会長や、住民の前田輝一さんが改善を求めていた。状況を聞いた公明党の小泉利治県議が関係各所に掛け合い、道路舗装を推進。さらに側溝部分には転落防止柵も設置された。中島会長と前田さんは、「感謝の一言だ」と喜び合っていた。

通学路をきれいに

山門自治会関係者らが作業

うづそととした通学路をきれいにしようと、上宇部の山門自治会(小泉利治会長)や見守り隊、市関係者らがこのほど、山門5丁目の公道約100mで伐採と草刈り作業をした。

この日は同自治会、見守り隊、上宇部小、市地域・福祉支援チーム、市



通学路を整備する参加者(山門5丁目の赤松池そばで)

教育委員会の5者が連携。7人が草刈り機やチェーンソーなどを手に約1時間作業し、赤松池沿いの道と、のり面を明るくした。

小泉会長は「これで子どもたちの安全を確保できれば、うれしい。今後、も作業を継続していきたい」と話していた。

(松原)

県議会は7日、一般質問があり、藤生通陽(自民党)、小泉利治(公明党)、岡村精二(自民党新生命)、井上剛(民新・連合の会)の4氏が米軍岩国基地問題や県生活基本計画の見直し、西日本衛星防災利用研究センターの活用、中小企業と学生の就職の出会いの場づくりなどを取り上げた。村岡副知事は米軍岩国基地への空母艦載機の移駐が基地機能強化に当たるとともに、一周辺住民の生活環境が現状より悪化するかどうかを判断基準」と重ねて説明した。藤生氏の質問に答えた。

県議会一般質問

25年度まで県住戸数維持



小泉利治氏

小泉氏は国の住生活基本計画が変更されたことを踏まえ、県住生活基本計画の見直しの方向性と進捗状況、今後の県営住宅の整備方針を聞いた。

村岡知事は県住生活基本計画について、国の基本計画の変更に対応しつつ、県の特徴を考慮して見直す考えを説明。「全国平均より高い高齢化率や空き家率、全国平均を下回る木造住宅の耐震化率などの地域特性を踏まえ、若年・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現などの目標を定め、3世代同居・近居の推進や住宅の耐震化などの施策を一層充実させたい」と述べ、県民意見の募集や市町の意見照会などの経緯、17年度中に計画を定めるスケジュールを示した。

県営住宅の整備方針については、今後10年間で人口や世帯数が減少する一方、高齢者やひとり親世帯の増加により公的支援が必要な世帯数は微増する見通しなどを踏まえ、計画期間の25年度までは現行の管理戸数を維持し、建て替えやバリアフリー化などに努めるという。26年度以降は公的支援が必要な世帯数の減少が見込まれるため、官民の適切な役割分担が保たれるよう供給量を抑制しながら、他用途への転用や集約化、廃止を含めた検討が必要になるとの考えを示した。

党山口県本部が「あいサポート団体」に

公明党山口県本部は先ごろ、県の「あいサポート企業・団体」に認定され、村岡嗣政知事から認定書を授与された【写真】。

これは、障がいの特性などを学び、障がい者への理解や手助を行う「あいサポート運動」に賛同し、普及・啓発に取り組む団体に対して与えられるもの。同運動は2009年に鳥取県でスタートし、これまで中国5県のほか、長野、奈良、和歌山の各県と北海道の1市、埼玉県の2市5町で実施されている。

同県本部はこれまで、研修会



を開催したり、党県議団が定例会や予算要望などで、同運動の取り組みを推進していた。運動を後押ししてきた石丸典子県議は「誰もが暮らしやすい社会の実現へ、これからも取り組んでいきたい」と語っていた。

2017年5月19日(金) 宇部日報

梅下さん門下生が力作

サンパークあじすで由源書道展

第13回由源書道展は19日、サンパークあじすで、空する梅下一弘さんの門下生17人の力作50点が、丁目の自宅と西岐波ふれ



個性あふれる書の世界(19日午前10時半、サンパークあじすで)

に誘っている。21日まで。92歳の梅下主宰は、由源社常任委員。長年、地域の人たちに書を通して生涯教育を実践している。今回は漢詩や格言などを掛け軸や額装にして出品。20年来、梅下主宰に師事する川辺キツエさん(82)は、昨年の読売女流展で入選した漢詩の軸装を出品した。手が震える持病を抱えながら半年かけて練習し、かすれと流麗な筆運びが見る人を引き付ける。「万感の思いが書に表れています」と話した。

梅下主宰と親交のある渡壁輝子さんが書、山本セイ子さんが水墨画を贊助出品している。子どものための楷書作品もある。時間は午前10時〜午後5時(最終日は4時)。(佐野)

活性化へ県の一層の支援を要望した。井戸敏三知事は「積極的に支援したい」と答えた。

定額給付金の体制整備図れ 若年者への支援対策強化を提案

【山口県議会】小泉利治議員は、定額給付金やドクターヘリの活用などについて、県当局の取り組みをただした。定額給付金については、「物価高の一方で収入減少に苦しむ家計を支え、個人消費を活性化し、景気を下支えする効果が期待できる」と強調。その上で、「給付事務がスムーズに行われるよう体制整備を図るなど、その準備に万全を尽くすべきだ」と訴えた。

これに対し、二井関成知事は「(実施されれば)新たな消費が喚起され、地域の経済対策に資するものとなる」とした上で、「犯罪防止について、関係

機関のホームページや広報紙などを通じ、広く住民への注意喚起を図る」と答えた。若年者への支援対策強化を提案 【福岡県議会】大城節子議員は、若年者の職場環境の厳しい状況や派遣、非正規雇用として働く若者が仕事に對し不満や不安を抱えていることを主張。正社員として働くための技能向上を支援するため「若年者ごとサポートセンター」内に、実務的かつ経験を積めるスキルアップ講座を開設すべきだと訴えた。さらに、採用内定取り消し者に対する相談体制整備や、若年者が職場でのストレス、悩みなどを気軽に相談できる窓口の設置も求めた。

県側は、福岡学生職業センターとも連携協力し、就職支援を行うべく、関係機関と連携していく考えを示した。

2017年9月10日 (日) 公明新聞



タンデム自転車の公道利用へ意見交換

党山口県議団

公明党山口県議団（小泉利治団長）は先ごろ、県障害者スポーツ協会（山口市）を訪問し、

二人乗り自転車（タンデム自転車）の公道走行認可に向けて担当者との意見交換を行った【写真】。

タンデム自転車は、二つのサドル（座席）とペダルを備えた自転車のこと。二人のうち一人はハンドル操作の必要がないため、視覚障がい者らもサイクリングを楽しむことができる。

自転車の「二人乗り」は道路交通法で禁止されているが、タンデム自転車での走行については、都道府県ごとの同法施行細則で定められており、山口県では現状認められていない。

同協会の担当者は「施行細則を改正し、タンデム自転車で公道を走行できるよう推進をお願いしたい」と要望していた。

2018年1月14日 (日) 山口新聞

産業発展に少しでも貢献できるように頑張りたい。雇用の面でも協力をお願いできれば」と述べ、藤田市長は「事業活動が円滑に進む

ようにできる限り支援、協力したい」と応じた。調印には県商工労働部の大谷恒雄部長、市議会の小野泰議

長が立ち会った。県議会事務局によると、条例が制定されれば、議員提案の政策条例は6例目となる。受動喫煙防止に関する条例は東京都と神奈川県、兵庫県で制定されてい

県議会、受動喫煙防止推進条例提案へ

県議会の自民党、公明党会派の議員が13日、受動喫煙防止の推進に関する政策条例の制定を柳居俊学議長に申し出た。県議会は今月下旬に開会する2月定例会で検討会を設置し、9月定例会に条例案を提案する見通し。

効性を確保するため条例制定を提案。県や県民の責務と役割を明記し、受動喫煙

による健康への影響について理解を深め、防止対策を進めるための基本事項を定めるという。

自民党会派の島田教明県議と公明党会派の小泉利治県議が柳居議長に申し出書を手渡した。2020年の東京五輪・パラリンピックを前に、国が受動喫煙対策を強化する法改正を検討していることを踏まえ、県民の機運を高め防止対策の実

況 (13日、キロ・円・高値・安値)

卸売	山	口	魚	種	岩	山	口	宇	部
2333	1237	—	ア	シ	1296	648	303	317	—
—	—	—	サイ	バ	756	540	432	594	540
—	—	—	マ	シ	648	432	864	513	493
—	—	—	カ	イ	1296	864	—	—	—
—	—	—	レ	イ	1620	1080	—	793	617
2916	855	—	先	カ	3240	1620	1620	—	—
—	—	—	ハ	リ	648	432	1404	—	—
—	—	—	レ	チ	1080	864	—	1296	659
—	—	—	タ	ウ	—	—	—	1276	724
—	—	—	水	チ	1296	648	—	—	—
3ト	—	—	揚	量	—	—	—	—	—

《唐戸魚市場》(13日)

魚種	キ	口
トラフク外海	8000	4000
大小	7000	4000
トラフク内海	—	—
大小	—	—
小マ	1400	1000
マ	1600	1100
ラ	1300	600
ヒ	2200	1100
タ	—	—
ア	—	—
サ	1500	1000

《広島中央卸売市場》(13日)

魚種	キ	口
イラチ	3240	270
チ	2160	648
セ	2160	216
ライ	1242	324
チ	1814	524
ハ	3240	648
カ	524	216
コ	2160	324
レ	4320	173
ハ	2376	108
カ	3780	216
コ	3240	1080
ヒ	3672	1944

西日本豪雨

生活再建を一日も早く

公明各地で街頭募金活動に協力



募金活動に協力する
小泉(右から2人
目)、菅田(左隣)
両県議ら14日山
口・宇部市

行った。公明党の小泉利治、菅田聡の両県議、宇部、山陽小野田両市の市議らが参加し、支援を呼び掛けた。

【山口】「山口県平成30年7月豪雨被災者救済の会」(手嶋一夫代表)は14日、宇部市内で募金活動を行

る。真心を現地に届けていきたいと訴えると、買い物客らが「少しでもお役に立てれば」と快く応じていた。

2018年12月1日 (土) 宇部日報

現職4人を擁立

公明党、市議選公認候補

公明党県本部は30日、宇部市役所で記者会見し、来春行われる市議選



会見する鴻池さん、安藤さん、小泉さん、新城さん、長谷川さん(右から、市役所で)

の公認候補4人を発表し、候補は、いずれも現職の新城寛徳議員(67)、長

谷川耕二議員(55)、安藤巧議員(62)、鴻池博之議員(61)。党本部から、11月15日付で公認を受けた。

同席した県本部西山口総支部長の小泉利治県議(67)は「来年は、県議選、市議選、参院選と続き、いずれも大勝利を収めたい。政策をしっかりと訴え、市民に浸透させていく」と抱負。

同党市議団の新城代表は「人口減少が進む中、住みやすい地域づくりにとりどり取り組んでいくかが求められている。減災・防災への備え、中心市街地の活性化なども訴えていきたい。市民の代弁者

受動喫煙から守る” 児童遊園に禁煙マーク表示

・宗黒区
・東黒目

子どもの受動喫煙をなく
そうと、東京都目黒区は昨
年11月から、区内の児童遊
園3園に禁煙を促すマーク
を表示し、子育て中の母親
たちから喜ばれている。
マークは、日本小児科連



禁煙マークが掲示された児童遊園。背景には、禁煙マークが掲示された児童遊園の様子。

もへの配慮を求めている。
たばこの先から出る煙
は、喫煙者本人が吸い込む
煙に比べ、多くの有害物質
が含まれる。同委員会によ
ると、特に妊婦や乳幼児が
受動喫煙すると、呼吸器の
病気や感染症にかかりやす
くなるという。区は今後、
要望があれば設置
場所の拡大を検討
したいとしている。
マークが表示さ
れた唐ヶ崎児童遊
園に、子どもと訪
れた米山穂菜さん
は「たばこの煙が
マウスで表示され
た児童遊園で親子
と散歩する際は区
議(左端)

流れてきても、吸っている
本人には言いづらい。マー
クがマナー向上につながれ
ば」と期待していた。
公明党の飯島和代区議
は、妊婦や子どもの健康を
守る観点から、2011年
6月と15年9月議会を受動
喫煙を防ぐ取り組みを求め
ていた。



小泉利治、石丸典子の両県議が同席した。

小泉利治、石丸典子の両県
議が同席した。
同会は、江国に対するフ
ラッドパッチ、硬膜外自家
血注入、探針の保険適用の
要請を医師を対象とした研
修会の実施を学校、家庭、
地域への情報提供(治療方
法などを開講できる「同症
ホームヘルパー」(今春公開
予定)の活用)の4項目
を要望した。

都市公園の民生活を推進

がん検診、受診体制拡充

小泉議員

県議会一般質問

県議会12月定例会は4
日、一般質問が行われ、
宇部市区選出の小泉利治
議員(公明)が山口ゆめ
花博の成果を受け継ぐ都
市公園の利活用、がん検
診の受診率向上、介護予
防活動の促進などについ
て聞いた。

都市公園の利活用につ
いて村岡嗣政知事は「花

博の成果を検証した上
で、民間の力を活用した
公園の多面的かつ魅力あ
る機能の発揮や、公園を
生かした地域づくりを進
めていきたい。そのため
に、指定管理を含めた体
制づくりや活動環境整備
に関する具体的な検討を
行っていくと答弁した。

がん検診の受診率向上
について中野恵健康福祉
部長は「働く世代が仕事
の都合に応じて検診が受
けられるように、今年度
は地元医師会と連携し、
休日検診日を設けたり、受
診可能な医療機関を増や
したりしている」と回答。
介護予防活動の促進に
ついて中野部長は「高齢
者の主体的な介護予防活
動が進むように、公民館
などで継続して行われる
体操やレクリエーション
活動にアドバイザーを派
遣している。また、研修
会などを通して地域包括
支援センター職員の資質
向上にも努めている」と
答えた。(中尾)

ネットワーク公明

◆愛知・瀬戸市 市立図書館に書 籍消毒機を設置

瀬戸市の市立図書館にこの
ほど、「書籍消毒機」が設置
され、利用者から喜ばれて
いる【写真】。

書籍消毒機は、本に付いた
髪の毛やほこり、ダニなどを



取り除き、紫外線で殺菌・消
毒を行うもの。図書館内所蔵
の本を対象に、無料で利用で
き、1回の消毒にかかる時間
は30秒ほどで、一度に4冊ま
で消毒できる。

同図書館によると、1日平
均20回の利用があり、幼児を
持つ保護者などから「目に見
えない細菌やほこりを除去し
てくれるので安心」との声が
寄せられているという。

消毒機の導入については、
公明党の池田信子市議が昨年
6月定例会で提案していた。

◆山口・長門市 道路の陥没を 整備して安全に

長門市では先ごろ、油谷角
山大川尻を通る県道脇の道路
に空いた穴が修繕され、近隣
住民らから喜ばれている。推
進した公明党の小泉利治県議
と先野正宏市議はこのほど、
現地を訪れ、状況を確認した
【写真】。

現地は県道と市道が交わる
交差点付近に位置しており、
修繕前は県道への抜け道とし
て利用する車が、穴にはまる



ことが多かった。近くに住む
清水常利さんは、「危ないか
ら、穴を埋めてもらえないか」

と先野市議に相談。先野市議
は現場を調査し、小泉県議と
連携して、県に対して整備を
求めている。

◆大分・佐伯市 でこぼこな市道の 舗装工事が完了

佐伯市木立の市道でこのほ
ど、路面の舗装工事が完了し、
地域住民から喜ばれている
【写真】。

この場所は、子どもがいる
世帯が多く集まっている住宅



地。舗装前は路面の老朽化が
進み、でこぼこになっており、
「子どもが足を取られたりし
て危ない」といった声が上が
っていた。

昨年4月、相談を受けた公
明党の後藤勇人市議が、市建
設課に改善を要望していた。

地元県議 新年あいさつ

災害に強く、安全な暮らし実現



小泉 利治

皆さまには輝かしい新春をお健やかに迎えのことから喜び申し上げます。

昨年は、県内をはじめ、広島県、愛媛県、高知県、北海道など各地で土砂災害が発生しました。一いつした土砂災害など

自然災害から生命を守り、安全な暮らしを実現することは政治の大きな役割です。

さらに本県は、人口減少による少子・高齢化対策や活力ある地域づくりなど課題も山積しています。

明るくニューズとして、明治150年プロジェクト「第35回全国都市緑化やまぐちフェア(山口ゆめ花博)」が、52日間の会期を終え、11月4日に閉幕しました。

入場者数は目標の50万人をはるかに上回り、136万人もの皆さまをお迎えすることができました。

今後は、この成果が、都市緑化の推進や新しい公園の利活用はもとより、産業や観光の振興など、さまざまな形で実を結び、新しい「県」の「人づゝり」につながるよう期待します。

さて、昨年は私が県議としてのライフワークとして取り組んでまいりました。

した「受動喫煙防止の取組の推進に関する条例」が成立しました。

県民の健康で快適な生活を維持していくため、県民や事業者など誰もが、受動喫煙による健康への影響などについて理解を深め、受動喫煙の防止における県民等の機運を醸成することにより、受動喫煙の防止に取り組むことを内容とした条例です。

本年も、皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ年頭のごあいさつといたします。

受動喫煙防止条例を検討

超党派で9月県議会に提案

「受動喫煙の防止の推進に関する条例(仮称)」制定に向けて、超党派の

県議による第1回政策立案等検討会が16日、県庁の議会棟で開かれた。全6回にわたり内容を詰めていき、県議会9月定例会での提案を目指す。

検討会は宇部市選挙区の佐々木明美議員(社民・市民連合)、篠崎圭二議員(自民)ら11人で構成。初会合で会長に岩国市・和木町選挙区の楨本利光議員(同)、副会長に宇部

市選挙区の清泉利治議員(公明)が選ばれた。

条例制定で県民の機運醸成などを図り、受動喫煙防止対策の実効性確保につなげる。内容は、県民の果たすべき責任と役割を明らかにし、取り組みを推進する基本的事項を定める。(詫間)

2月定例会は 全議案可決閉会

県議会2月定例会は16日、6729億8271万円の来年度予算案など83議案を可決し、閉会した。

地元県議 新年のあいさつ

51

〈第3種郵便物認可〉

将来にわたり元気な県を



小泉 利治

新年あけましておめでとう(さ)います。本年も皆んなや(家族にとりまして、幸多い年となりますよう心から願っています。

して、地域の灯台として、地域の明るい将来に向けて皆(ま)の声を聞き、できるだけ希望が行き渡る県政にしようと努力の連続でした。

年では最も減少幅が大きくなっています。今後、さらなる減少が続けば地域経済や県民生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

こと創生総合戦略を策定し「活力みなぎる山口県」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

そのような中、わが県議会公明党会派(小泉利治会長、先城憲高、石丸典子、上岡康彦、曾田聡)は団結をもつて村岡県政を後押ししつつ、県民の皆(ま)から頂戴しました。

本年も引き続き「指導、(鞭撻(へんたつ)を賜りますよう)よろしくお願いたします。

皆(ま)の県議を送つていただき、はや18年が経過しております。

これまで、県議会議員と人台を維持したものの、近年では最も減少幅が大きくなっています。今後、さらなる減少が続けば地域経済や県民生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

焼酎「薩長」の完成をアピールする品川さん(右から2人目)ら(県庁で)



薩長連合の焼酎完成

長州侍 明治150年記念し二つの味

宇部市の企業組合長州侍(木村一清代表)は、明治150年を記念して山口県産と鹿児島産の米こうじを使った2種類の本格芋焼酎「薩長」高杉仕込」と「薩長 西郷仕込」を造り、18日から発売する。

同組合の有志でつくるこの焼酎のために高杉晋維新150企画実行委員(作)西郷隆盛のキャラクター(職員)国調委員長)がターデザインをプロに企画した。鹿児島県産を、描いてもらうなど、世界つま市の宇都酒造(宇都)一校好い、パッケージデザインにもこだわった。

それぞれラベルに描かれた2人のデザインは、ゲームやコンピュータ、グラフィックスのキャラクターを数多く手掛けている山陽小野田市(47)グラフィックデザインは周南市の大木賢一さん(46)が担当。歴史好きな女性や、海外のアニメファンなど新たな顧客開拓につながる商品づくりにこだわった。

県庁には、品川さん、長州侍の副代表も務める(89)宇部観光コンベンション協会会長

た「高杉仕込」は、甘い香りとまろやかで優しい口当たりが特徴で、水割りがお勧め。鹿児島産の米こうじを使った「西郷仕込」は香りが高く、をスタートラ(うまみと)くのバランスが取れており、水割りでおいしいが、お湯割りが最適。

市長ら今夜帰国

カ市 宇部市

9月に条例案提出目指す

受動喫煙防止で県議会検討会

県議会は16日、受動喫煙防止を推進する政策条例の制定に向けた検討会を設置し、初会合を開いた。9月定例会での条例案提出を目指す。

検討会は委員11人で構成。会長に榎本利光氏（自民党）、副会長に小泉利治氏（公明党）を選出した。喫煙を禁止するのではなく、喫煙者と非喫煙者が共に健康への影響について理解と関心を深め、受動喫煙防止の取り組みを進める観点で検討することを確認した。

関係団体からの意見聴取や意見公募（パブリックコメント）を経て、9月議会に条例案を提案する見通し。

性を確保するために必要として、柳屋俊学議長に条例の制定を申し出ていた。

なる。受動喫煙防止に関する条例は東京都と神奈川県、兵庫県で制定されている。

018年度一般会計当初予算案をはじめ、268億300万円を減額して総額を6550億5800万円とする17年度一般会計補正予算案など82議案を可決、閉会した。

消費税の増税中止を求める請願は不採択とした。

2月定例県議会は16日、最終本会議を開き、総額6729億8300万円の2

県議会が閉会

18年度一般会計当初予算案をはじめ、268億300万円を減額して総額を6550億5800万円とする17年度一般会計補正予算案など82議案を可決、閉会した。

消費税の増税中止を求める請願は不採択とした。

2月定例県議会は16日、最終本会議を開き、総額6729億8300万円の2

公明党、現職の小泉さん引退



出馬の意気込みを語る猶野さん（左）と引退する小泉議員（市役所で）

公明党県本部は11日、宇部市役所で記者会見した猶野克さん（44）を、

来春行われる真議選の宇部市選挙区の公認候補に決定したと発表した。現職の小泉利治さん（66）は引退する。

猶野さんは宇部市出身。西岐波小・中、宇部フロンティア大付属香川高を卒業し、創価大に進学した。IT関連会社で14年間勤務した後、37歳で国分寺市議に当選。総務委員会委員長、議会運営委員会委員長などを歴任し、2期目の途中の4日に辞職した。

猶野さんは「生まれ故郷でいつか恩返しをしたいという思いを持っていた。産業と自然が融合した大好きなまちを、元氣

（岩本）

ドクヘリ、医療体制強化

受動喫煙防止へ機運醸成

議員 小泉

県議会一般質問

県議会2月定例会は28日、一般質問が行われ、宇部市区選出の小泉利治

議員(公明)が、ドクターヘリの救命効果向上、受動喫煙防止対策、動物愛護の取り組みなどを聞いた。

向上について、中野健康福祉部長は「関係機関との連携を一層強め、ヘリの出動、初期治療の開始、患者搬送の円滑化に向け、手順のマニュアル化やランデブーポイントの新設などを実施していく。今後もドクターヘリを活用した救急医療体制を強化していく」と話し

た。受動喫煙防止対策について村岡副政知事は、昨年10月に制定された「受動喫煙防止の取組の推進に関する条例」を踏まえ、「全県域での事業者等を対象とした研修会の開催、啓発用リーフレットの作製・配布、市町と連携した禁煙キャンペーン

を実施し、県民の機運醸成に努める」と答えた。動物愛護に関する犬・猫の殺処分削減に向けた対策は佐伯彰二環境生活部長が回答。「2014年に犬・猫の殺処分数全国ワースト3位となつたことを契機に、保健所の収容期間延長による譲渡機会の拡大、ウェブサ

イトを使った積極的な情報提供などを行い、殺処分数は大幅に減少したが、依然として多い所有者不明の動物の引き取りなど課題も残る。今後も動物愛護団体等と連携し、人と動物の調和の取れた快適な暮らしづくりに取り組みたい」と答えた。(河内)

知事に予算編成で要望

自民党県連、公明党県議団

自民党県連、公明党県議団は10日、村岡副政知

提出した。

事に、2019年度予算編成についての要望書を

や友好団体、県連支部から寄せられた約850項目を

目を、超重点要望事項として54項目に集約。▽県の新総合計画「やまぐち維新プラン」の具現化▽明治150年を生かした県づくりの推進▽災害に強い県づくりなどを強く求めた。

公明は、被災者の生活を再建支援の取り組み強化、手話言語条例(仮称)制定に向けた検討および手話の普及促進、スマート農業の推進、学校施設の安心・安全対策の推進など新規16項目を含む16項目への対応を求めた。(神谷)

SNS活用のいじめ相談に支援を

浮島文科副大臣 に党山口県議団

浮島智子文部科学副大臣(公明党)はこのほど、文科省で公明党山口県議団の石丸のりこ(県議選予定候補)、小泉利治の両県議と会い、要望を受けた【写真】。これには榎屋敬悟衆院議員



と山本ひろし参院議員(参院選予定候補)が比例区に同席した。県議らは、山口県の公立学校におけるいじめの認知件数が増加傾向にあることなどを踏まえ、若者が利用しやすいSNSを活用した相談体制構築への支援を求めた。浮島副大臣は前向きに取り組む姿勢を示した。

引退県議7氏送別の会

4月29日に任期満了を迎える県議の送別の会が8日、2月定例会議会の最終本会議後にあった。今期限りで引退する7氏に、村岡副知事や執行部、同僚議員からはなむけの言葉が贈られた。



花束を手にあいさつする吉井利行氏(中央)ら引退する県議8日、県庁

引退するのは、吉井利行氏(70)▽関町・田布施町・平生町区9期、自民党新生会▽佐々木明美氏(72)▽宇部市区8期、社民党・市民連合▽河村敏夫氏(79)▽周南市区5期、自民党▽小泉利治氏(67)▽宇部市区5期、公明党▽岡村精二氏(66)▽宇部市区4期、自民党新生会▽西嶋裕作氏(67)▽山口市区5期、国民・連合の会▽星出拓也氏(38)▽柳井市区2期、自民党。

病氣療養中の西嶋、星出両氏を除く5氏が花束を受け取り、それぞれが議員生活振り返りを行った。吉井氏は「執行部、議員の皆さまには今まで以上に県勢振興、県民福祉向上にご尽力をたまわりたい」、佐々木氏は「本心に幸せて思い切った議員活動ができた」、河村氏は「皆さま方はお体を大事に、私も一生懸命頑張る」、小泉氏は「同期が全員いなくなり寂しい思いだが、これからも交流を深めたい」、岡村氏は「県が素晴らしい飛行機のように議会と一緒に空高く飛んでほしい」と述べた。

村岡知事は「長年にわたる県政の推進、発展に向けた皆さまのご尽力、熱意に心から敬意と感謝を申し上げます」とねぎらった。

2月県議会閉会

2月定例会議会は8日、最終本会議を開き、総額6854億2700万円の2019年度一般会計当初予算案をはじめ、197億1400万円を減額し総額を6734億700万円とする18年度一般会計補正予算

藤井県議が辞職

周南市長選出馬で周南市長選(4月14日告示、同21日投開票)への立候補を表明している藤井律子県議(66)▽周南市区が8日、辞職願を柳居俊学議長に提出し、許可された。同市長選には、現職の木村健一郎氏(66)も立候補を表明している。